２０２６年度
インターンシップ体験報告書

三重県立石薬師高等学校

校長挨拶

本校では、生徒一人ひとりが自らの人生を見つめ、主体的に進路を選択し、将来を切り拓く力を育むため、独自のキャリア教育プログラム「サクラサク・プラン」に取り組んでいます。高校3年間を通じて段階的にキャリア意識を高める中で、2年次に実施するインターンシップは、学校での学びを実社会と結び付ける重要な機会となっています。

近年、生成AIをはじめとするデジタル技術の進展により、仕事の進め方や働く環境は大きく変化しています。これからの社会では、自ら考えて行動する力や、周囲と協力して課題を解決する力が、ますます重要になります。一方で、挨拶や言葉遣い、時間や約束を守ること、責任を持って役割を果たすことなど、社会で働く上での基本的な姿勢も欠かせません。

今年度も、地域の多くの事業所の皆様にご理解とご協力をいただき、生徒たちは実際の職場で貴重な経験を積むことができました。慣れない環境の中で仕事に取り組むことを通して、働くことの大変さややりがい、相手の立場を考えて行動すること、分からないことを自分から質問すること、周囲と協力することの大切さを実感したことと思います。

生徒からは、「仕事を覚えることは思っていたより大変だったが、できるようになるとうれしかった」「自分から挨拶をしたり、分からないことを質問したりすることの大切さが分かった」といった感想が聞かれます。また、今回の経験を通して自分の課題に気付き、学校生活の中で必要な力を身に付けようとする姿勢や、将来就きたい仕事についてさらに理解を深めようとする意欲も期待されます。

こうした気付きは、インターンシップの大きな成果です。今回の経験を一度きりの体験で終わらせることなく、日々の授業や学校行事、部活動などに生かし、自ら考え、行動する力を育んでほしいと願っています。

最後に、ご多用の中、生徒を温かく受け入れ、丁寧にご指導いただきました事業所の皆様に、心より感謝申し上げます。本校は今後も地域とのつながりを大切にし、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、社会で必要とされる力を育む教育を推進してまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和８年10月

三重県立石薬師高等学校　校長　山本　勇人

目　次

１.インターンシップの概要 ……4

２．生徒の体験感想文……5

シキボウ株式会社 鈴鹿工場……5～6
ジャストテック株式会社……6
テイ・エス・パーツアンドサービス株式会社……7～8
パラマウント硝子工業株式会社　鈴鹿工場……8～9
株式会社明菱　中部支社……9
株式会社 SANKEI……9～10
株式会社サクピス……10～11
株式会社奥岡技研……11
工業化成株式会社　鈴鹿工場……12
有限会社　今井硝子……12
株式会社サンワ……13
株式会社ホンダカーズ三重……13～15
有限会社　鈴清社……15～16
NX 商事株式会社　鈴鹿 LS センター……16～17
四日市物流サービス株式会社……17～18
有限会社ナルカワキャリー……18
鈴鹿インター株式会社……18～19
株式会社杉本組……19～20
須賀株式会社……20
勢州建設株式会社……21
株式会社日舘建設……21
村瀬病院グループ（グループホームひまわりの家）……22
養護老人ホーム南山……22
株式会社 Anchor’ s……23
アート引越センター株式会社……23
ホンダモビリティランド株式会社鈴鹿サーキット……24～26
スーパーサンシ株式会社……26～27
マックスバリュ東海株式会社　鈴鹿中央店……27～29
株式会社ぎゅーとら……29～30
有限会社ワンダーコーポレーション……30
株式会社まるかつ……30～31
パンタロン株式会社……31～32

株式会社エンジョイ……32～33
自衛隊三重地方協力本部……33～34
一ノ宮保育所……34～35
社会福祉法人白鳩会白鳩保育園……35～36
神戸保育所……36～37
認定こども園いそやま保育園……37
鈴鹿市河曲保育所……38
鈴鹿市西条保育所……38～39
鈴鹿市牧田保育所……40～41

３.生徒アンケートの集約結果……42

1.インターンシップの概要

（１）実施時期と期間　　令和 8 年 7 月 21 日(火)～25 日(土)の内 3 日間

（２）対象者　　2 学年

（３）時間帯　　9:00～15:30 または事業所指定の時間帯

（４）内容　　生徒が希望した職種で就業体験を行う

（５）実施に至る日程

No	内　　容	実施時期
①	実習先事業所開拓	2 月～4 月
②	インターンシップガイダンス	4 月 27 日(月)
③	インターンシップ参加希望調査実施	5 月上旬
④	第 1 回事前学習	5 月 25 日(月)
⑤	第 2 回事前学習	6 月 1 日(月)
⑥	第 3 回事前学習	6 月 3 日(水)
⑦	第 4 回事前学習	6 月 10 日(水)
⑧	生徒による事前訪問	6 月 24 日(水)～7 月 3 日(金)
⑨	第 5 回事前学習	7 月 7 日(月)
⑩	直前学習	7 月 17 日(金)
⑪	インターンシップ実習	7 月 21 日(火)～25 日(土)
⑫	事後学習	7 月 27 日(月)

〈シキボウ株式会社鈴鹿工場〉

私は今回のインターンシップを通して、働くことの大切さを知ることができました。理由は 2 つあります。1 つ目は、どんな仕事でも働く人たちがいないと社会が成り立たないからです。例えば、工場では製品を作っているため、働き手がいなければ物を手に入れることができなくなります。また、販売業ではスーパーや飲食店などがなくなり、必要な物を購入することができなくなってしまいます。2 つ目は、コミュニケーションの大切さです。特に介護や飲食店などではコミュニケーションがとても重要であり、どんな仕事でも周りの人との連携が必要になることを学びました。仕事の楽しさは、機械を使用して製品にフックを取り付けたり、段ボールを固定するバンドを付けたり、段ボールを専用の機械で切断したりと、さまざまな作業を体験できたことです。一方で、仕事の厳しさは、細かい部分に糸を通す作業や、立ち作業で足が痛くなることでした。さらに、少しのミスでも製品として成り立たなくなることがあるため、検査を十分に行う必要があることも学びました。私は、このインターンシップで怪我をしないことと、製品や機械を壊さないことを意識して取り組みました。理由は、多くの製品があり、40 万円以上する機械もあるため、怪我をする危険があり、機械を壊してしまうと大きな損害につながる可能性があるからです。そのため、周りをよく確認しながら作業を行いました。今回の体験を通して、私は工業(製造業)が自分に適していると思いました。理由は、同じ作業を繰り返すことが多く、指示書やマニュアルに従って作業を進めるため、自分に合っていると感じたからです。ただ、すべての作業が自分に適しているかはまだ分からないので、絶対に向いているとは言えません。しかし、苦手な作業でも練習や経験を積み重ねることでできるようになると思うので、どんな仕事でもまずは挑戦し、苦手な作業も繰り返し練習してできるように努力していきたいと思いました。今回のインターンシップは、今後の自分の進路決定にとても役立ちました。理由は、調べるだけでは分からないことを自分の目で見て体験することで、その職種や企業についてより深く知ることができ、自分に適しているかどうか、また自分にできる仕事なのかを知ることができた、とても貴重な経験だったからです。就職や進学をしてから後悔するのではなく、今のうちにたくさんの経験をし、悩みながら進路を考えることで、より良い進路選択ができると思いました。



インターンシップでは同じ作業を繰り返すことが多く、私はそのような作業があまり得意ではないため、作業の大変さや働くことの大切さを知ることができました。実習先の方々にご迷惑をおかけしないことと、頼まれた仕事は時間内に最後まで責任を持って取り組むことを意識して実習を行いました。1 日ごとに違う場所で仕事を体験させていただいたので、気分をリフレッシュしながら取り組むことができ、仕事の楽しさも感じました。一方で、実習では社員の方々が普段行っている仕事の一部を体験させていただきましたが、その一つひとつの作業を正確に行うことの大変さを知ることができました。私は同じ作業を繰り返すことがあま

り得意ではないため、自分には少し難しい仕事だと感じました。しかし、実際に体験したことで、自分にはどのような仕事が向いているのかを考える良い機会になりました。私は進学を考えており、今後どのような学校に進学するかについても考えるきっかけになりました。今回のインターンシップで体験させていただいた作業は、私にも取り組める内容でしたが、社員の方々はさらに専門的で責任のある仕事をされていることを知り、その大変さや責任の重さを感じました。今回の経験を通して、自分は人と関わる接客業のような仕事が向いているかもしれないと感じました。今回学んだことを家族とも話し合い、今後の進路選択に生かしていきたいと思います。

僕は今回のインターンシップで、働くことの大切さを知ることができました。なぜなら、実際に働いている方々を見て、「しっかり責任感を持って働いているのだな」と改めて感じることができたからです。インターンシップで意識して取り組んだことは、しっかりあいさつをすることと、体験中に分からないことがあれば、すぐに質問することです。あいさつは、どこに行っても大切なことだと思いました。インターンシップで体験した「厳しさ」は、仕事は覚えることが多く、慣れるまでは時間がかかるため、とても大変だと思ったことです。一方、「楽しさ」は、仕事を通して話しやすい方や、分かりやすく説明してくださる方が多く、安心して体験することができたことです。僕は、今回体験した仕事は、少し自分に適していると感じました。いろいろな体験をしてみて、体験する前は少し簡単そうだと思っていても、実際にやってみると難しいことが多いことが分かりました。インターンシップの経験は、自分の進路決定に役立ちました。工場の仕事でいろいろなことを経験し、自分の得意なことや向いていることなどをたくさん見つけることができたからです。また、小さなミスをしても、みんなでコミュニケーションを取り、協力しながら取り組むことができたのでよかったと思いました。今回のインターンシップでは、工場の仕事内容を知ることができ、とても進路決定に役立ちました。3日間貴重な体験をすることができてよかったです。



〈ジャストテック株式会社〉

私は三日間のインターンシップを通じて、学校では学ぶことのできない多くのことを経験し、働くことの大変さや楽しさ、社会人として大切なことを知りました。作業を始める前の確認や、周囲をよく見て行動すること、安全ルールを守ることがとても重要だと学びました。二日目は木材加工機を使った作業を体験しました。普段使っているエアコンなどの製品も、一つひとつの部品を丁寧に加工し、多くの工程を経て完成していることを知りました。また、工具は正しい使い方を知らなければ危険であり、安全に作業を進めるためには知識と経験が必要であることを認識しました。三日目にはスマホスタンドの製作を体験しました。レーザー加工後のバリ取り作業は、最初は簡単そうだと思っていましたが、実際にやってみると力加減が難しく、少し削

りすぎるだけで形が変わってしまったり、逆に削りが足りないとバリが残ってしまったりしました。そのため、何度も確認しながら慎重に作業を進めました。今回のインターンシップでは、作業の技術だけではなく、働く上で最も大切なのは「信頼」であることも学びました。社員の方からは、AI などの便利な技術に頼りすぎるのではなく、自分で考え、判断する力を身につけることが大切だというお話も聞きました。この言葉はとても印象に残り、これからの学校生活でも自分で考えて行動することを意識していきたいと思いました。仕事には大変なことも多くありますが、その分やりがいや達成感を得ることができました。この三日間のインターンシップは、私にとって将来について考える良いきっかけになりました。



〈テイ・エス・パーツアンドサービス株式会社〉

今回のインターンシップを通して、働くことの大切さを知ることができました。車の小さな部品が作られている様子を見て、普段何気なく乗っている車が多くの人の仕事によって支えられていることを実感しました。実習で意識したことは、丁寧に作業することです。私はレーンの一番前を担当し、素早く作業することを心がけました。実際に作業をしてみると、同じ作業を繰り返すことが多く、ゲーム感覚で楽しく取り組むことができました。従業員の方々も話しやすくて、安心して仕事をすることができました。一方で、仕事の厳しさも感じました。立ち仕事で足が少し痛くなったり、作業中に手がつりそうになったりしました。仕事は楽しいだけではなく、体力も必要なのだと分かりました。今回体験した仕事は、自分に合っていると感じました。私は車が好きなので、車の小さな部品や作業工程を知ることができてよかったです。また、自分が作った部品が実際に車に使われ、世界中に出ていくことにもやりがいを感じました。普段は気づかないような小さな部品が車に使われていることを知ることができたのも、貴重な経験でした。今回のインターンシップは、自分の進路決定に役立ちました。私は就職を考えているため、興味のある仕事を実際に体験できたことは、とても良い経験になりました。これからも進路学習に積極的に取り組み、さまざまな求人票を見ながら、自分に合った仕事を見つけていきたいと思います。また、昼食で利用した食堂も印象に残っています。煮込みハンバーグや豚キムチ炒め、唐揚げなど、さまざまなメニューから選ぶことができ、毎日楽しみながら昼食をいただきました。食事の面でも働く環境の良さを感じることができました。今回の貴重な経験を今後の進路選択に生かしていきたいと思います。



私は昔からものづくりが好きで、ものづくりに関する仕事がしたいなと思っていました。インターンシップ先を決めるとき、テイ・エス・パーツアンドサービス株式会社さんにはロボット溶接があることを知り、興味を

持ちました。初めてインターンシップに参加するので、実習前は不安なことがたくさんありました。1日目は、ロボット溶接の機械音が大きく、火花が散っていてとても怖かったです。怪我をしないかとても不安でした。しかし、皆様はとても優しく、一つひとつ丁寧にやり方を教えていただいたおかげで、安心して実習に参加できました。お昼ごはんもとても美味しく、皆様といろいろな話ができて楽しかったです。2日目は1日目と同様にロボット溶接をしました。3日目は仕事内容が違い、少し不安になりました。外国人の方が優しく仕事内容を教えてくれました。同じ作業を繰り返すことが楽しかったので、僕にはこの仕事が向いていると思いました。帰るときは、皆様が見送ってくれて嬉しかったです。3 日間のインターンシップを通して、大変なこともありましたが、とてもいい経験になったと自転車に乗りながら思いました。



〈パラマウント硝子工業株式会社　鈴鹿工場〉

　私は3日間を通してたくさんのことを学びました。特に、実際に働く大変さを知りました。1日だけでも大変な作業だと思ったのに、毎日働いている社員の方々はすごいなと思いました。実習中は、人の話をしっかり聞き、はっきりと返事をすることを意識しました。最初は全然できなかったことが、だんだんとできるようになっていくことが楽しかったです。しかし、気温が高く、慣れない場所で作業するのは大変でした。インターンシップを通して、今回体験した仕事は自分に少し適していると思いました。理由は、同じ作業を繰り返すことが多く、それが楽しいと感じたからです。また、今回の経験は自分の進路決定に役立ちました。理由は、製造の仕事はどのようなものかを知り、その他にも生産物流・品質管理・経理・資材関係などの実習を体験できたからです。学校生活だけでは学べないことや、社会人として当たり前のことを知り、今後の進路決定や就職、面接などにとても役に立つと思いました。この経験を今後に活かして行きたいです。



　インターンシップでは、丁寧かつ安全に作業することを意識しました。工場同士の荷物のやり取りを移管と言い、その方法を学びました。まず、フォークリフトで荷物を荷物倉庫の2階まで持ち上げて運びます。ただし、出荷の時は、金具を使ってネットを繋ぎ止め、2階から荷物を落としてトラックに積み込みます。ただ積み込むだけではなく、2階の作業員とトラックの運転手は連携を取りながら作業する必要があります。また、経理では一円の狂いも許されないことを知りました。一円ぐらいなら、という考えは会社にとって絶対に NG です。お金を使う時は必ず報告し、帳簿に記さなければなりません。そして、品質管理では、ガラスウールを

千切って計量器で33．5グラムぴったりにする必要があり、特殊な計算方法が用いられていました。トラックでガラスの原料を受け取った後は、ガラスで出来た綿のガラスウールを作るため、溶融炉に入れます。ガラスのウールの作り方は、綿あめと似ていると聞きました。ほかにも、名刺交換の方法についても学びました。立場が偉いのは訪問される側なので、訪問する側から名乗ります。交換の時は、右手で名刺を差し出し左手で受け取り、名刺ケースの上に相手の名刺を置きます。名刺交換の時、名刺を持っていなかったとしても「忘れました」と言うことは絶対に NG であり、基本的には「あいにく持ち合わせておりません」と言わなければなりません。業務中、電話が掛かってきた時には、「もしもし」は絶対に言わないこと、保留は30秒以内におさめることも学びました。3日間、将来ここで働くかもしれないという意識を持ち、話を聞いたり作業をしたりしました。インターンシップの経験は今後の進路選択にとても役に立ちました。



〈株式会社　明菱　中部支社〉

　インターンシップ中は敬語を使うことを心がけていましたが、徹底できていない部分もあり、反省しました。普段から敬語を使い、慣れておけばよかったと思いました。実習では、熱い鉄板を持つ機会があったのですが、熱いものに触れられないためその作業ができず、社員の方に任せてしまったこと、ペレットの集合体を見ていると気分がとても悪くなり、体調を崩してしまい、その日の勤務時間を短くしてしまったことも反省しました。しかし、社員さんは私に優しく接してくれました。とてもフレンドリーな方が多く、楽しく実習に参加できました。単純作業が多いため、この仕事は比較的自分に適していると思いました。なぜなら、私は複雑な物事を覚えることが苦手なので、単純作業であれば混乱せずにしっかり働くことができると感じたからです。様々な作業を体験する中で、私の得意なことや苦手なことが明らかになりました。また、働くことの大切さが分かりました。インターンシップでの経験を今後の進路選択に役立てたいです。以前から思い描いた就職後の自分の仕事のイメージがより鮮明になってきました。来年に向けて就職活動を頑張ります。



〈株式会社 SANKEI〉

　サンケイさんでインターシップの体験をさせていただき、ものづくりの大変さや大切さを知ることができました。暑いなか立ったまま作業し続けたので、とても疲れました。しかし、作業中の従業員さんたちを見ると励まされ、自分も最後まで頑張ろうと思えました。今回のインターシップで意識したことは、体調管理をし

っかりすること、任せてもらった作業に対してミスしないように真剣に取り組むこと、時間管理を徹底することの三つです。実習中、インターシップの担当者で説明や質問に対応してくれた担当者の中村さん、体調を心配してくれた金丸さん、初日に担当してくれて、話しやすく優しい加藤さん、二日目、三日目に優しく丁寧に教えてくれた遠藤さん、最終日に丁寧に教えてくれた笑顔が素敵な立石さん、皆とても優しくていい人ばかりで楽しかったです。単純作業が多く、慣れたらスムーズに作業ができる点は、とても自分に適していると思いました。しかし、幅広い年代の方が働いているため、コミュニケーションを取ることが難しかったです。また、ものづくり自体は好きだなと感じる点がいくつかありました。ただ、暑い環境での立ち作業はとにかく体が疲れるので大変だなと感じました。このインターシップの3日間は、進路選択に役立つ経験と情報をたくさん知ることができたので、自分のためになったなと思います。他にも、中村さんから聞いた話や、実際に体験した経験を生かし、今後の自分の将来の糧にしたいと強く思いました。



インターンシップでは、いろいろな人とコミュニケーションをとることができました。SANKEI さんでお仕事を体験させていただいて、製造のお仕事の大変さが分かりました。特に、夏や冬は体調管理に気をつけないといけないし、仕事面で影響が出るため天気にも気をつけないといけないなと思いました。実習中に意識して取り組んだことは、体調管理です。とても暑く、工場での作業だったので、熱中症や脱水症状にも気をつけて取り組みました。また、遅刻しないように時間に余裕を持って家を出るようにしました。敬語を使い、丁寧な言葉で話すことも心がけました。繰り返し同じ作業をしていたので、すぐに慣れることができました。従業員の皆様は優しく教えてくださり、1日目から楽しんで作業に取り組むことができました。体験を通して感じた仕事の「厳しさ」は、部品を包装するときに、部品の数を間違えないように気を付けないといけないことと、素手で触ってはいけない部品には触らないようにすることです。今回体験させていただいた仕事はすべて単純作業だったので、覚えることが苦手な自分に適していると感じました。自分にあった職業を見つけるにはたくさんの時間が必要ですが、今回のように一人で行う単純作業の仕事があっているのだなと思いました。この経験を今後の進路決定に役立てたいです。



〈株式会社サクピス〉

3 日間のインターンシップを体験してみて、「働く」ことにはどんな意味があるのだろうかと考えました。実際に働いたからこそ知ったこと、分かったことがたくさんありました。何より、生きていくためにはお金が必要なので、毎日しっかり体調を整えて仕事に挑まないといけないと感じ、「ああ、働くのって大切なんだなぁ」

と思いました。今回の実習で、挨拶や敬語を完璧に使いこなすことを意識しました。3 日間、事業所の人たちとすれ違うとき、出会ったときにしっかり挨拶をすることができたと思うし、敬語も適切に使えたと思います。今回、サクピス様で段ボールのバリ取り作業というものを行いましたが、段ボールの余分なところを取っていく作業がなんだか楽しくて、ストレス解放術みたいでした。しかし、取り方などについて厳しいお言葉いただくこともあり、仕事の大変さというものを知りました。販売業や営業などと違って、お客様の前に立って行う仕事ではなく、一人で黙々と作業するような裏方の仕事は自分に適していると思いました。とても勉強になりましたが、知恵熱にならなくてよかったです。今回得た経験をもとに、今後の進路をもっと前向きに考えていきたいと思いました。



〈株式会社奥岡技研〉

今回のインターンシップでは、働くことの大切さを知ることができました。奥岡技研様では、全国の様々な自動車メーカーの部品を試作、製作しており、自動車産業を支える大切な職業なのだなと思いました。今回の実習で意識して取り組んだことは、正確さです。製品によっては、ミリ単位以下の狂いも許されないこともあるため、くれぐれも各工程にミスがないように意識して取り組みました。実習中は工場内の人たちとのコミュニケーションを取りながら働くことができ、とても楽しかったです。皆明るく、休憩時間には同僚同士で話している姿も多く見受けらました。楽しいこともあった一方で、厳しさを感じることもありました。それは、環境の過酷さです。今回体験させていただいた ASSY 部では、エアコンや扇風機はあるものの、溶接時には強い光や熱が発生していました。その中でも、溶接時に発生する強い光には強力な紫外線が含まれており、裸眼で直視し続けてしまうと、目に痛みを感じたり、充血してしまったり、涙が出てしまったりしてしまいます。それらの点において環境の過酷さを感じました。インターンシップを通して、今回体験した仕事は自分に適しているところもあるのかなと思いました。溶接などの危険な仕事はあるものの、産業用ロボットで自動化されているため安全に作業でき、日本の自動車産業に携われていると思うと、やりがいを感じながら働くことができそうだなと思ったからです。正直、自分が将来就きたいと思っている職業とは、ジャンルが全く異なる仕事でした。しかし、このような仕事が見えないところで自分たちの生活を支えていることに気づきました。今後の進路選択に大変役立つ実習だったと思いました。



〈工業化成株式会社　鈴鹿工場〉

3日間のインターンシップは工場内での作業が中心でした。体験させていただいた仕事の内容は、製品の組み立てや梱包などです。具体的には、製品のバリ取りや製品の品質管理、荷物を運ぶときの紐などを作りました。製品のバリ取りは、プラモデルを作る工程に似ていて楽しかったです。今回の体験を通して、コミュニケーション能力や環境への適応力が大事だと思いました。また、工業化成さんは空調設備が整っていて働きやすく、社員さんたちが優しく教えてくれたり話しかけてくれたりしたので楽しかったです。実習中に意識したことは、ミスなく、素早く仕事をすることです。どうしたら効率良くできるのか考えて作業しました。この仕事は僕の器用さを活かすことができるため、とても適していると感じました。今後は、工業化成さんのような製造業の会社に勤めたいと思いました。倉庫内はとても広く、一度迷ってしまいました。倉庫の管理などは大変そうだと思いますが、苦手なことから逃げずに頑張りたいです。工業化成さんで体験させていただけてよかったなと思いました。

〈有限会社　今井硝子〉

インターンシップに参加し、学校生活だけでは学ぶことのできない貴重な経験をすることができました。参加する前は、ガラスやサッシに関する仕事は重い物を運ぶことが中心だというイメージを持っていましたが、実際には細かな作業や正確さ、安全への配慮がとても重要な仕事であることを知りました。一つひとつの作業を丁寧に行い、品質を保つために確認を繰り返している姿がとても印象に残っています。また、社員の皆さんが明るく親切に接してくださり、分からないことは丁寧に教えてくださったので、安心して仕事を体験することができました。仕事中は真剣に取り組みながらも、休憩時間には声をかけてくださり、職場の雰囲気の良さも感じることができました。チームで協力しながら仕事を進める姿を見て、コミュニケーションの大切さも学びました。今回のインターンシップを通して、ものづくりの仕事には高い技術だけでなく、責任感や協調性、お客様に安心して使っていただくための細かな気配りが必要であることを実感しました。また、自分から積極的に行動し、分からないことは質問することの大切さも学ぶことができました。この経験を今後の学校生活や進路選択に活かし、自分自身も社会で必要とされる人になれるよう努力していきたいと思います。最後になりましたが、お忙しい中、貴重な体験の機会を設けてくださった今井硝子の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



〈株式会社サンワ〉

インターンシップでの体験を通して、電気工事は日々の生活に必要なものであり、生活に関わる欠かせない仕事だと知りました。仕事をするにあたって、担当者の話をしっかりと聞き、説明通りに動いて間違えずに真剣に取り組めてよかったです。電気工事の楽しいところは、電気機器を扱うことや、電気の回路を繋げて電気がついたときに達成感が得られることです。厳しいところは、夏場も外で現場工事をしないといけないことです。電気工事を体験して、この仕事は自分に少しだけ適していると思いましたが、難しいと感じる部分もありました。インターンシップを通して電気工事について知ることができたので、進路選択に役立つと思いました。高校生のうちに実際の仕事を体験できてとてもよかったです。この経験を忘れずに、3 年生での進路決定に繋げていきたいです。とても楽しいインターンシップでした。このような貴重なインターンシップを体験できて大変光栄です。



〈株式会社　ホンダカーズ三重〉

インターンシップでは、実際に洗車や車内、タイヤ交換などをさせていただき、一つひとつの作業を丁寧にすることが大切だと感じました。また、お客さんに気持ちよく車に乗っていただくためには、責任を持って仕事をすることが大事だと思いました。お客さんに喜んでもらうために、洗車後はしっかりと水が残らないように拭き上げることを意識しました。教えてもらったことをしっかりと聞いて、一つひとつの作業を丁寧に行うように心がけ、熱中症にならないようにしっかり水分補給をしました。体験してみて楽しいなと感じたところは、実際に車を拭き、空気圧を確認し、タイヤ交換、オイル交換などをしたことです。しかし、とても暑い中で作業しないといけないので、仕事の楽しさだけでなく厳しさも実感しました。この仕事はとても自分に適していると思いました。なぜなら、自分は車やバイクが好きで、家でも親の車のタイヤ交換をしており、作業が楽しいからです。職場ではスポーツカーなども見ることができたのでとても嬉しかったし、かっこよかったです。この経験は今後の進路決定に役立ちました。実際に洗車や車内清掃、タイヤ交換などの作業を体験して、自動車関係の仕事がどのようなものかを知ることができました。また、働くことの大変さだけでなく、お客さんのために丁寧に作業することの大切さも学びました。この経験は、自分の進路を考えるきっかけにもなりました。

インターンシップはとても楽しかったし、自分の将来のためにもなりました。働くことの大切さや楽しさ、厳しさなどがよくわかりました。私はアルバイトをしていないので、働くことがどういうことかよく分かりませんでしたが、インターンシップを通して、楽しさや大切さを見出すことができたと思います。仕事をするうえで大切なことは、お客さんに喜んでもらうことです。当たり前のことかもしれませんが、私はこれが一番大切だと思いました。指導をしてくださった永田さんから、「整備士はサービス業」という言葉を聞いて、気づきまし

た。永田さんが「車を整備するときにお客さんにちゃんと整備したことを伝えるためには、車のボディや窓をピカピカにしたり、車内を掃除したりする」とおっしゃっていたのを聞いて、確かにそうだなと思いました。お客さんの立場になって考えた時、最初に見るところはそこだなと共感もできました。ただ、タイヤやブレーキなどを点検するだけでなく、普段お客さんが目にするようなところもピカピカに仕上げるという姿勢から、プロとしての意識の強さを感じました。実習では直接車に触れることができ、とても楽しかったです。自分自身車が好きなので、お客さんの車を整備することも楽しく、スポーツカーや SUV といった車が来るとテンションが上がり、やる気が出ました。しかし、外作業は暑さや寒さの影響を直に受けるため、仕事の厳しさを感じました。特に、夏は熱中症に気をつけなければいけないので、改めて実感しました。今回のインターンシップは進路選択に役に立ちました。今の考えとしては、ホンダカーズ三重庄野店で働きたいと考えております。

今回のインターンシップで整備の仕事を体験し、責任を持って仕事をすることの大切さを学びました。実際に体験してみると、一つのミスが大きな問題につながる可能性があるため、すべての作業を丁寧に行うことが大切だと感じました。また、お客様に安心して車に乗ってもらうためにも、責任を持って作業することが重要だと思いました。車を洗車した後には、水滴を拭き上げる作業をしました。整備の仕事では仕上げが大切だと教えていただいたので、車内もしっかりと清掃しました。また、一度聞いたことをもう一度聞かなくてもよいように、説明を一回でしっかり聞くことを意識しました。職場体験で特に楽しかったことは、タイヤを外したり、ナットを締めたり、タイヤの空気圧を確認したりする作業です。一方で、一つのミスが重大な問題につながることから、仕事の厳しさも感じました。そのため、一つひとつの作業を丁寧に行うことが重要だと学びました。今回の体験を通して、自分は自動車整備の仕事に向いていると感じました。作業は覚えることがたくさんありましたが、実際に体験することで、自分も努力すればできるようになると思ったからです。また、車内清掃やタイヤ交換などを行う中で、自動車整備の仕事の内容を知ることができ、お客様の安心や笑顔のために働くことの大切さも感じました。この 3 日間のインターンシップを通して、自動車整備の仕事に就きたいという気持ちがさらに強くなりました。将来、この仕事に就くために、これからもしっかり勉強して努力していきたいと思います。今回のインターンシップで学んだことを、今後の進路や学校生活に生かしていきたいです。

インターンシップでは、いろいろな人にあいさつや感謝の気持ちをしっかり伝え、迷惑をかけないように指示をもらったらすぐに取り組むことを意識しました。社員の方とすれ違ったときは、先に挨拶をすることができました。帰るときにもしっかり挨拶をし、3日目はお世話になった方々に感謝を伝えました。迷惑をかけないように、指示のあるところ以外は触らず、余計なことはしないことを意識して取り組みました。とても暑くて辛いこともたくさんありましたが、整備の仕事は楽しく、その楽しさだけでも様々なことを乗り越えられるということをお聞きし、自分に合っている仕事を選ぶことは大切だと思いました。働いてみて気づいたことは、みなさんの仲が良く、いろいろな人がいることです。車の点検を一人でしている人が多かったけれど、困ったことがあったら交代をして手助けをしていて、強い絆のチームだなと感じました。外国の方にも教えても

らいましたが、日本に来て3年で資格を取って仕事内容を覚え、日本語を習得している様子を見て、もし自分が海外に行って3年で同じようにしようとしてもできる気がしないので、本当にすごいと思いました。今回のインターンシップで感じた仕事の楽しさは、人と関わることです。3日間とても暑い中でしたが、みなさんのおかげで楽しく働くことができました。しかし、人の命を預かるため、お客さんが安心して乗れるように1つのミスも許されないところに厳しさを感じました。例えば、ほんの一つでも作業を間違えたり、車の電気系統やエンジンの近くに工具を持っていったりすると、車が故障してしまうことがあります。一つの工程を間違えると、すべての作業に影響してしまうため、とても厳しい仕事だと思いました。



僕はインターシップの3日間で仕事のおもしろさや過酷さ、楽しさを学びました。株式会社ホンダカーズさんで体験させていただいて、担当者さんやホンダカーズの皆様が優しく面白かったので楽しい3日間になりました。正直なところ、学校で授業を受けているよりも楽しかったです。整備では、12ヶ月点検や6ヶ月点検、車内清掃、車体拭きなどをさせていただきました。とてもいい経験になりました。将来は株式会社ホンダカーズさんのような整備の仕事がしたいです。とても楽しく、勉強になった3日間でした。ブレーキの仕組み、オイル交換の仕方、車内清掃、車体拭きのコツ、空気圧チェック、タイヤ交換など、このインターシップの3日間でとても貴重な体験をさせていただけて、もともと車やバイクに興味がありましたが、さらに自動車整備の仕事に興味を持ちました。仕事がつらいと思うことはまったくなくて、強いて言うなら暑さぐらいでした。楽しいインターンシップになりました。卒業後は株式会社ホンダカーズさんで働きたいです。僕たち5人はとても汗をかいているのに、ホンダカーズの皆さんは全然汗をかいていなくて、難しい仕事もすらすら進めていて、とてもすごいと思いました。重たい大型車のタイヤも軽々持ち、黙々と作業している姿を見て、とても尊敬しました。軽自動車だけを修理しているのかと思いましたが、高級車や大型車など、いろいろな車がありました。バイクの点検も見たかったです。今後は勉強や面接の練習を頑張り、株式会社ホンダカーズさんに就職したいです。3日間貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



〈有限会社　鈴清社〉

今回のインターンシップで働くことの大切さが分かりました。暑い中ペットボトルの分別をしたり、洗浄したりするのは大変だけど、鈴清社さんがこの作業をやめてしまうと、リサイクルもできなくなってしまうことが分かったからです。今回の実習で意識したことは、挨拶や返事をしっかりすること、元気でいることの2つ

です。体験で感じた仕事の楽しさは、皆さんの仲が良く、年齢が近い方も多くて話しやすかったところです。1人作業も楽しかったです。しかし、暑い環境でペットボトルを分別する必要があり、そのうえ次々と新しいペットボトルがくるので、頑張って作業しても減らなくて大変でした。この仕事は、私には少し向いていると思いました。理由は、一人で黙々と作業でき、同じ作業の繰り返しのため、すぐに仕事を覚えられると感じたからです。インターンシップの経験は私の進路決定に役立ちました。私は人と話すことが好きなので、接客業が向いていると思っていましたが、今回のような仕事にも集中して取り組むことができたので、もう少し視野を広げて進路を考えようと思いました。接客業以外の求人票も見てみます。短い3日間だったけど、自分の将来が広がる職場体験ができてよかったです。勉強になりました。

3 日間大変お世話になりました。この 3 日間で私はたくさんのことを学びました。まず、働くことの大切さを知ることができました。その理由は、私たちは普段、ジュースなどを飲んで捨てているけれど、そのペットボトルにはたくさんの人が関わり、分別などが仕事として行われていることを学んだからです。今回の実習で意識して取り組んだことは、どのような作業にも真剣に取り組むことです。皆様が明るく接してくれて、分からないことはなんでも教えてくれたので楽しかったです。仕事を通して感じた厳しさは、休憩はあったけれど、暑い中、嫌な匂いがするものでも分別しないといけないところです。今回体験した仕事は自分に適していると思いました。その理由は、一人で黙々と作業することが好きだからです。インターンシップの経験は自分の進路決定に役立ちました。なぜなら、仕事を体験できることがとても珍しく、どの仕事が自分に向いているのか分かったからです。分別作業を通して、ゴミはしっかり分別すれば、何度でもリサイクル可能なものが多いことを知り、資源の大切さを学ぶことができました。ペットボトルの分別をするとき、中身が入ったままのものもあり、勿体ないなと感じました。トマトジュースの中身を出すときは少し気持ち悪くなりました。3 日間本当にありがとうございました。



〈NX 商事株式会社　鈴鹿 LS センター〉

今回インターンシップを経験し、あと1、2年後にはもう働かないといけないことを実感しました。涼しいところで楽に仕事できるものだと思っていたけど、暑いところで難しい作業をしないといけないこともあり、働くことの大変さを実感しました。今回のインターンシップを通して、社会に出たら挨拶や自主的に行動することが一番大切だと思いました。そのため、日頃から挨拶をして、周りを見て行動することも大切だと思いました。体験先で大変だと思ったことは、暑い中同じ作業を繰り返さないといけないことです。暑さに慣れておくことも大事だと思いました。楽しいと思ったことは、段ボールを組み立てて、積み重ねることです。今回

の体験した仕事は自分にはあまり適していなかったと思いました。理由は、倉庫は暑く、同じ作業ばかりだと時間が過ぎるのがとても遅いと感じたからです。しかし、どのような環境でも関係なくしっかり働くことは社会に出たら当たり前だと思うので、今のうちから暑さに慣れておきたいと思いました。今回のインターンシップは、今後の進路選択に役立ったと思います。今の自分は暑さに弱くて、同じ作業があまり好きではないことに気づきました。働くことの大変さを実感することができ、とても良い学びになりました。来年の夏には自分で就職先を決めていかないといけないので、その際にこの経験を活かしたいです。



僕はインターンシップを経験して働くことの大切さを知ることができました。なぜなら、どんな仕事でも人々の役に立っており、苦労しないとお金は稼げないことが分かったからです。今回の実習で意識して取り組んだことは、分からないことはちゃんと聞く、言われたことをしっかりこなす、迷惑をかけない、の3つです。しっかりと実践することができました。僕が体験した仕事内容は梱包作業で、車の部品をきれいに段ボールに詰めて閉じ、シールに名前を書き、そのシールをはがす仕事です。同じ作業を繰り返すのは大変でした。ほかにも、鉄の部品を錆びないようにするために大きなアルミを二枚重ねました。今回のインターンシップで楽しかったことは、機械を使って作業したことです。しかし、とても暑い環境で立ちっぱなしで作業するのは大変でした。この仕事は自分にはあまり適していないと思いました。同じことを繰り返すには器用さも必要なので、僕には難しいなと思いました。この経験は自分の進路選択にとても役立ちました。今後どのような仕事をしたいか考え、仕事の大変さに気づくことができました。



〈四日市物流サービス株式会社〉

今回のインターンシップでは、実際の職場で働く方々の姿を間近で見ることができ、とても貴重な経験になりました。学校の授業だけでは分からない、仕事に対する責任感やチームワークの大切さを実感しました。特に、一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たしながら、お互いに協力して仕事を進めている姿が印象に残りました。また、仕事はただ作業するだけではなく、相手のことを考えて行動することが重要だと学びました。分からないことをそのままにせずに確認しながら進める姿勢を見て、信頼されるためには日頃から責任感を持って行動することが必要だと感じました。私も実際に作業を体験しましたが、簡単そうに見える仕事でも正確さや集中力が求められ、働くことの大変さを知ることができました。さらに、職場の方々が優しく分かりやすく教えてくださったおかげで、安心して取り組むことができました。質問すると丁寧に答えてくださり、仕事ではコミュニケーションがとても大切であることも学びました。今回の経験を通して、社会人として必要な挨拶や礼儀、時間を守ることの大切さをあらためて理解することができました。今回のインターンシッ

プで学んだことを今後の学校生活にも活かし、普段から責任感を持って行動し、周りの人と協力することを意識していきたいです。そして、自分の将来について考えるきっかけにもなり、働くことへの理解を深めることができました。この貴重な経験をむだにせずに将来社会に出たときに役立てるよう、これからもさまざまなことに挑戦していきたいと思います。

〈有限会社ナルカワキャリー〉

働くことには責任が伴い、大変なこともありますが、その一方で、人の役に立つことの喜びや、「ありがとう」「がんばって」と声をかけてもらえる嬉しさを知ることができました。今回の実習で意識して取り組んだことは、笑顔であいさつをし、相手の話をしっかり聞くことです。インターンシップ中はそれらを心がけて行動できました。とても緊張したけど、有限会社ナルカワキャリーの皆さんが笑顔で優しく話しかけてくださって、私の緊張も自然に溶けていきました。トラックに乗ったり、倉庫での作業を体験したりする中で、運搬の仕事について実際に知ることができ、とても楽しかったです。一方で、倉庫内や外の暑さが厳しく、体力を使う大変さも感じました。しかし、そのような大変な仕事だからこそ、お客様から「ありがとう」と声をかけていただいたときには、大きな喜びを感じました。この仕事が自分に適しているかは分からないけど、実際に仕事の様子を見たり、経験したりして、運搬の仕事への興味がより強くなりました。自分の進路について考えるきっかけになり、とてもいい時間でした。以前から乗ってみたかった大型トラックに乗せていただきました。小型トラックや中型トラックより目線が高く、乗り降りが落ちそうで怖かったけど楽しかったです。



〈鈴鹿インター株式会社〉

この 3 日間のインターシップを通して、いろいろなことに気づきました。僕はアルバイトをしていて、あまり疲れることがなかったのですが、インターシップでは帰りの車ですぐに寝てしまうくらい疲れました。夏の倉庫はとても暑くてエアコンがなかったので、過酷な環境での仕事を体験しました。しかし、鈴鹿インター株式会社の皆様は辛そうな顔をせず、てきぱきと作業をこなしている姿を見て、働くとはこういうことなのだなと思いました。鈴鹿インター株式会社の皆様はとても優しく、僕にも話しかけてくれたりしました。現場の雰囲気は和やかでした。現場の仕事を教えてくれた谷岡さんや、石田さん、米田さん、須藤さんも優しくて働きやすかったです。車の部品ということもあって、職員の皆様は車がお好きな方がいました。鈴鹿インター株式会社さんは、車の部品を預かり、ホンダさんのリクエストに応じて部品を送る仕事だけでなく、介護施設のさ

つきの里もあることを知りました。僕のお母さんはホンダ車の N-BOX なので、N-BOX に使われている部品も見せていただきました。帰ってから車を見ると、その部品が本当に使われていて、鈴鹿インター株式会社さんが届けた部品なのだと実感しました。従業員の皆様や、須藤さんなどが「働ける人だね」と言ってくれて自信がつきました。ただ、あまり調子に乗らず、この経験を糧にして自分の実力を伸ばしていきたいと思いました。



私はインターンシップの職場体験を通して、高齢者の方々と接することの大切さや、介護の仕事のやりがいについて学ぶことができました。実際に施設を訪れる前は、介護の仕事は体力的に大変な仕事という印象が強くありました。しかし、職員の方々が利用者一人ひとりの体調や気持ちに寄り添い、笑顔で丁寧に接している姿を見て、介護には思いやりやコミュニケーションがとても重要であることを実感しました。インターンシップでは、利用者の方との会話やレクリエーションのお手伝い、起こし方、寝かし方などを体験、見学しました。最初は緊張してうまく話しかけることができませんでしたが、利用者の方が優しく話しかけてくださったおかげで、少しずつ自然に会話ができるようになりました。職員の方からは、介護の仕事は生活を支えるだけでなく、命を預かる仕事というお話を聞きました。その言葉がとても印象に残り、相手の立場になって考え、危険がないかなどを意識し、安心して生活できる環境をつくることの重要性を理解しました。今回のインターンシップを通して、介護の仕事は決して楽な仕事ではありませんが、人の役に立ち、感謝される非常にやりがいのある仕事だと感じました。この経験を通じて、相手を思いやる気持ちや積極的にコミュニケーションを取る姿勢の大切さも学ぶことができました。今後はこの経験を学校生活や将来の進路選択にも生かし、周囲の人への思いやりを忘れずに行動していきたいと思います。日にちを間違えたり、取り組む姿勢が悪かったりして、利用者の方や働いている方にも迷惑をかけてしまい、反省する点が複数ありました。今後はこのようなことがないように気をつけていきたいです。

〈株式会社杉本組〉

インターンシップを通して、働くことの大切さを知りました。実習でいろいろな話を聞き、私たちが不自由なく花火へ行ったり車で道路を走ったりすることができるのは、誰かがそのような仕事をしてくれているからだと理解したからです。今回行ったインターンシップで、より深く考えを改めさせられました。この仕事はみんなの生活の役に立っていると実感しました。いくつか疑問に思ったこともありました。例えば、何故このような設計をしているのか、なぜ協力会社がいないとこの仕事は成り立たないのか、などです。どうやって道路を修復するのかを教えてもらい、実際にコテを使って作業させていただきました。単純な楽しさだけではなく、誰かの生活のために作業をすることにやりがいを感じ、達成感を得られました。今回の体験を通して、仕事の厳しさを感じました。炎天下でも、誰一人文句を言わずに作業をしている姿が印象に残りました。ま

た、一つの小さなミスでも周りの人に迷惑をかけ、作業全体を遅らせてしまうことがあるため、責任を持って行動することの大切さを学びました。さらに、他の人の作業を見て、感覚的に仕事を覚えていくことも、簡単そうに見えて実際にはとても大変で厳しいことだと気づきました。今回の体験は、1日目と3日目は作業ではなく現場監督側だったので、自分の希望とは少し違いましたが、協力会社の方々に少しだけ現場作業も体験させていただきました。その結果、僕は現場監督よりも実際に作業をしたいと感じました。しかし、監督側も、自分が指示したことを協力会社の方々が黙々と完成させていく様子を見ることができるので、面白そうだと思いました。今回の体験は、自分の将来を考えるいい機会になりました。まだはっきりと進路を決めていませんでしたが、今回の体験で少しだけ夢を持つことができました。その夢とは、若い頃は作業員として仕事をし、年齢を重ねていったら現場監督の勉強をしつつ、動けなくなってきたら現場監督になることです。自分の進みたい進路をはっきりさせることができ、とても良い体験でした。



〈須賀株式会社〉

今回のインターンシップでは、いろいろなことを体験しました。一日目は、道や川は市、県、国が管理しており、石薬師高校の前にある一号線は国が管理していることを教えていただきました。ほかにも、公共工場の説明をお聞きました。この工場は、田んぼの水を蛇口から出すようになっており、その水が溢れそうになると自動で止まる仕組みだということも教えていただきました。また、その水は調圧水槽から出ていることを知りました。その後、少しだけ長太九日町の工場を見せていただきました。二日目は、鈴鹿市土師町で工場現場の手伝いをしました。移動式クレーンに乗り、運転を体験させていただきました。運転は想像よりも簡単で、数時間で慣れそうだと感じました。しかし、力加減のコントロールが必要で、ずっと右ばっかりに回っているとねじが取れてしまうそうです。そして、小型、中型、大型のそれぞれのクレーンにフックという場所があり、それらの限界を超えるとクレーンごとひっくり返ってしまうことを教えていただきました。三日目は、一日目の最後に見せていただいた現場を見て、少しだけお手伝いしました。とても暑くて熱中症になりそうでした。そこでは、下水道のパイプを線路の下に通す工事をしており、穴を掘って新しいパイプに変え、三重舗材株式会社さんで受け取ったセメントで埋め、仕上げに固めているところを見学しました。この3日間、お忙しい中ありがとうございました。



〈勢州建設株式会社〉

今回のインターシップでは、働くことはお金を稼ぐためだけではなく、人の役に立ち、社会に貢献する大切なことだと学びました。実際に仕事を体験する中で、一つひとつの作業に責任を持ち、周りの人と協力することの大切さを実感しました。建設の仕事は、互いにコミュニケーションを取り、協力することも大切だと学びました。2 日間体調不良で休んでしまいましたが、勢州建設の皆様は優しく、機械の使い方なども丁寧に教えていただき、とても楽しかったです。実習中に意識して取り組んだことは、熱中症を防ぐことです。建設の仕事では安全を第一に考えて行動することが重要だと思ったので、作業中は周りをよく見て担当の方の話をしっかり聞き、分からないことはすぐに質問しました。自分を守るためはヘルメットが必要です。しかし、建設の仕事は体力だけでなく集中力や責任感も求められるということを知り、とても厳しい仕事だと感じました。暑さや寒さの中で作業を進めることは本当に大変ですが、自分たちが造った建物や道路が形として残り、多くの人の生活を支えていることに大きなやりがいを感じる仕事だと思いました。こんなにも難しい仕事をしている勢州建設の皆様を尊敬しています。2日間休んでしまいましたが、今回のインターンシップを通して建設についてますます興味が深まりました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

〈株式会社日舘建設〉

インターンシップでは、タイムカードや看板に貼るシールの製作、書類の印刷などをしました。今回、事務の仕事を一部体験させていただいたことによって、仕事の大変さを知ることができました。そして、自分の苦手なことや得意なこと、伸ばすべきところを知りました。普段歩いている道や工事現場の看板をつくるのはとても大変だということを知りました。看板に貼るシールを作っているとき、かなり時間がかかり、焦ってしまいました。ほかにも、書類作成のときに枚数を間違えてしまったり、ラミネートをする時の角度をまちがえて書類をグチャグチャにしてしまったりして、とても大変で難しいと感じました。また、Excelの使い方も教えていただきました。Excelの様々な機能を知ったとき、とても驚きました。他にもシールを印刷する機械の名前と使い方を知りました。インクの交換のやり方やラベルを付け替える方法なども知りました。たくさん体験させていただいたことで、自分の得意なことや、やりたいこともわかりました。そして、やりたいことのためにどこをのばすべきか、どこを改善するべきかがはっきりしました。私は作業のスピードが遅いので、もっと早く書類整理をできるように心がけます。タイピングも遅いので、タイピングの練習を毎日するようにします。今回のインターンシップは進路を考えるうえで大変参考になりました。



〈村瀬病院グループ　グループホームひまわりの家〉

今回のインターンシップで学んだことは、利用者様にはさまざまな表情の変化があるということです。とても笑顔で楽しそうにしている時もあれば、急に悲しそうな表情をされる時もありました。1 日目と 2 日目は、様々な利用者様の姿を見ました。落ち着いていた人が急に興奮してスタッフさんに強い言葉を言ったり、テレビの電気が勿体無いと言ってテレビの電源コードを抜こうとしていたり、歩行補助用具がないと歩いてはいけない人が立ち上がって歩こうとしてつまずきそうになったり、車椅子でしか移動してはいけない人が立ち上がって歩いてトイレに行こうとしたりする人がいて、全然目が離せないなと感じました。毎日利用者様を支えているスタッフさんのことを尊敬しています。3日目は、同じ質問を何回もされました。「あんた何年生？」「介護の仕事をしたいの？」「専門学校に行くの？大学に行くの？」「どんな学部に行くの？」などと10回以上聞かれ、こんなにも忘れてしまうのだなと思いました。しかし、何回もお話しているうちに、「2年生やとまだまだ将来があって楽しそうやな」「これから君がどうなっていくのか楽しみや」「この仕事に就いて私たちのことを介護してほしいな」などのお言葉をいただき、うれしい気持ちになりました。



〈養護老人ホーム南山〉

インターンシップを体験し、働くことの大変さや大切さを知ることができました。職員の方々が利用者一人ひとりに寄り添い、責任をもって仕事をしている姿を見て、働くことは人の役に立つだけでなく、周りの人からの信頼を得るためにも大切なことだと感じました。今回の実習で意識して取り組んだことは、笑顔で挨拶し、利用者さんとコミュニケーションを取ることです。利用者さんとレクリエーションをしたり、一緒にお話をしたりして、とても楽しかったです。しかし、安全に気をつけながら行動するのは大変でした。このお仕事は少しだけ私に向いていると思いました。自分から積極的に行動するのは難しいけど、利用者さんに喜んでもらえることにやりがいを感じました。皆さんに沢山ほめていただいてうれしかったです。インターンシップの経験は、今後の自分の進路選択に役立ちました。実際に仕事を体験したことで、仕事のやりがいや大変さを知ることができ、将来の進路について考える良いきっかけになりました。利用者さんは一人ひとり性格や身体の状態が異なるため、その人にあった支援が大切だと感じました。また、職員同士が協力しながら利用者さんたちの安全と安心を守っているところを見て、すごいなと思いました。コミュニケーションはどんなお仕事にも共通する大切なことだと教えてもらいました。色んな人と話せて楽しかったです。



〈株式会社 Anchor’s〉

私はインターンシップに3日間行きました。1 日目はわからないことばかりだったので、指導者さんの指示を待って、言われたことをするだけでしたが、2日目、3日目になるにつれてだんだん慣れてきて、指導者さんがいなくても自分で行動できるようになりました。お客様と美容師さんの邪魔にならないように床を掃いたり、掃除をしたり、いろいろな作業を体験することができて楽しかったです。美容師さんは、長時間立ったまま仕事をしており、大変なことも多いと感じました。しかし、自分の好きなことを仕事にし、お客様と会話をしながら働くことにやりがいを感じていることが分かりました。大変な仕事を長く続けている美容師さんはすごいなと思いました。1 日目には、指導者の方々に髪を洗っていただき、マッサージやストレートもしていただきました。とても嬉しく、私もいつか一人でできるようになりたいと思いました。今回、インターンシップに行くまでは、テーマパークのキャストか美容師になりたいと思っていましたが、今回のインターンシップで美容師の仕事を体験したことで、将来の夢が美容師になりました。とてもいい体験だったと思いました。自分の将来の夢を叶えるために、学校でしっかり勉強し、遅刻や欠席などを減らし、社会人として当たり前のことを当たり前にできるように頑張りたいです。



〈アート引越センター株式会社〉

私は引っ越しという仕事を何も知らない状態でインターンシップに行きました。しかし、私が想像していたよりも引っ越しという仕事はやりがいがあり、楽しかったです。以前は、ただ荷物を運ぶだけの仕事だと思っていました。実際は、荷物を運んだり、保管したり、掃除をしたり、荷造り、荷解きを手伝ったり、冷蔵庫、洗濯機などの生活用品を売ったりと、いろいろなことをしているのだと知りました。物を運ぶ前には傷つかせないように壁や床を保護したり、いろいろな種類の梱包材を使って梱包したりと、一つひとつ丁寧に作業をしていてすごいなと思いました。何一つ手を抜くことなく効率よく作業していて、私にはできなさそうなことも軽々とこなされていてすごいなと思いました。引っ越しは、入学や就職など、様々な場面で利用されるので、誰かの人生の手助けができるとてもいい職業だなと思いました。また、私には物は運べないと思っていたけれど、想像よりもたくさんの荷物を運ぶことができました。構内での作業も色々教えていただき、できることが増えてとても嬉しかったです。構内と現場では、仕事内容や仕事をするときの空気感が全然違っていて驚きました。インターンシップの経験を活かし、自分の将来の目標に向けて頑張りたいです。

〈ホンダモビリティランド株式会社　鈴鹿サーキット〉

鈴鹿サーキットでは、「非日常」を大切にしていると感じました。なぜそう感じたかと言うと、インターンシップ初日に受けた研修の際に、「サーキットに来る事は我々にとって日常だが、ココ（サーキット）に来るお客様事は非日常である」というポスターを見つけたからです。このポスターを見て、アトラクションスタッフの方達はこういったことを大切にして日々働いているのだと感じました。今回なぜインターンシップ先を鈴鹿サーキットにしたかというと、あるきっかけがあったからです。それは、2019 年にあった「コカコーラ鈴鹿 8 時間耐久ロードレース」です。当時は小学 4 年生でしたが、その際にアトラクションスタッフさんが温かく出迎えてくれたのをよく覚えています。予選日は台風で大雨、決勝日は台風一過の青空でしたが、その時もスタッフさんは笑顔で温かく迎えてくれました。この日に初めてレースを見たので、鮮明に覚えています。インターンシップでは、しっかり働くことができるか不安でしたが、アトラクションに来てくださったお客様が笑顔で帰っていくのを見て、とてもうれしい気持ちになりました。一緒にいたスタッフの方にも、よく仕事をこなせていると言っていただき、自信がつきました。こうしたお言葉もいただきながら、3 日間のインターンシップを終えることができ、とても良い経験となりました。アトラクションにはグローバルなお客様も多くご来園していて、3日間の中で様々な国の方と交流することができました。

今回のインターンシップを通して、接客業として働くことの大切さを学ぶことができました。特に二つのことを学びました。一つ目は、接客の大切さです。テーマパークでは子どもと接する機会が多いため、小さな子どもにも分かりやすい言葉を選んで話すことが大切だと学びました。二つ目は、英語を学ぶことの大切さです。海外から来られるお客様も多いため、英語で対応できるように、日頃から英語を学ぶことが必要だと感じました。実習中は、常に笑顔で丁寧な接客を心がけました。そして、何事にも冷静に判断して臨機応変に行動することを意識しました。自分一人でできないことは、ほかの仲間にも頼りながら工夫して進めることが大切だと思いました。活動中、ミスしてしまうこともありましたが、意識すべきことはしっかりできたと思います。テーマパークなので、お客様を楽しませることが一番の目標です。お客様が笑顔で幸せそうにしていると自分も楽しく仕事ができ、やりがいを感じました。仕事を通して感じた厳しさは、小さなミスでも大きな影響を与えてしまうため、一人で判断せず、周りの人に助けを求める勇気や、冷静に行動することが大切だということです。私は、人を楽しませたり、誰かを幸せな気持ちにしたりすることにやりがいを感じるため、この仕事に向いていると思いました。また、私は好きなことには粘り強く取り組むことができるので、もしミスをしてしまっても、自分で反省し、改善点を見つけ、次の行動につなげることができると思います。今回のインターンシップを通して、将来の進路を考える上で役立つ貴重な経験ができ、とても良かったです。

今回、ホンダモビリティランド株式会社鈴鹿サーキットのモトファイターで 3 日間インターンシップに参加しました。実際に働いている方と一緒に行動し、普段では見ることのできない仕事の流れや裏側を知ることができました。最初は緊張していましたが、スタッフの方が優しく話しかけてくださり、少しずつ慣れることが

できました。インターンシップでは、お客様への対応や安全確認、イベント運営のサポートなどを体験しました。特に安全確認は想像以上に細かく、一つひとつの確認が事故を防ぐために大切だということを学びました。また、小さな子どもから大人まで幅広い年代のお客様が楽しそうにしている姿を見て、この仕事のやりがいを感じました。スタッフ同士の連携もとても印象に残りました。忙しい時でも声を掛け合いながら協力していて、チームワークの大切さを実感しました。大変そうだなと思う場面もありましたが、お客様が「ありがとうございます」と言って帰っていく姿を見ると、その苦労が報われる仕事なのだなと思いました。3 日間という短い期間でしたが、接客だけではなく、安全管理やコミュニケーションの大切さを学ぶことができ、とても良い経験になりました。今回のインターンで学んだことを今後の学校生活や就職活動にも生かしていきたいです。疲れることもありましたが、仲間と協力することの大切さを感じながら、チームワークで乗り越えることができた 3 日間でした。

今回、鈴鹿サーキットで仕事を体験して、学校では学べないことをたくさん知ることができました。慣れない場所だったのでとても緊張しましたが、企業の方たちが優しく接してくれて、分からないこともちゃんと教えてくれたので、少しずつ安心して仕事ができるようになりました。この体験を通して、仕事は一人だけでするものではなく、周りの人と協力したり、ちゃんと話し合ったりすることが大事だということを知りました。企業の方たちはお互いに声をかけながら仕事をしており、チームで働くことの大切さを実感しました。また、時間を守ることや、任されたことを最後まで責任をもってやり遂げることなど、社会人として当たり前のことですが、とても大切なことも学びました。インターンシップを通して、指示を待たずに自分から行動することや、分からないことをそのままにせずに質問することも大事だと感じました。最初は恥ずかしくてあまり聞けませんでしたが、勇気を出して聞いてみると仕事の内容がよく分かるようになり、少し成長できたと思います。今回の経験で、働くことの大変さややりがいを知ることができ、自分の将来についても考えるきっかけになりました。今後は、今回学んだことを学校生活でも活かし、もっとコミュニケーションを取って自分から行動できるようにしていきたいです。この 3 日間はとても勉強になりました。来年の進路決定に向けて頑張ります。

私は今回の 3 日間で接客業において大切なことをたくさん学ばせていただきました。初日は清掃、食器片付けの作業を体験するものだと思い込んでいたので、実際に食材に触れることができて驚きました。盛り付けを行う場を「盛り場」と言い、そこで作業しました。入ってくるオーダーを見て、それらの盛り付け方を教えていただきました。初めてのことだったので、苦戦しました。お昼の時間帯だったのでお客さんの数も多く大変でした。自分ではできたと思っても、完成してからもう一度見てみると雑なところが多くあることに気づきました。そのため、その日の反省から課題を見つけ、翌日の目標を立てることができました。2 日目は最も成長を実感した1日でした。盛り付けにも慣れ、簡単なレシピであれば一人でもできるようになりました。しかし、料理を提供するスピードはまだ十分ではなく、忙しい時間帯には周りの人と協力することが必要だと感じました。注文が一度に多く入るため、素早く正確に作業することの大切さを学びました。だんだんとで

きることが増えていき、嬉しかったです。2 日目も、指導者の方や周りの方に協力していただき、2つの課題が明確になりました。1つ目の課題は、衛生面です。忙しさや作業に慣れてきたことから油断が生じ、サラダにラップの切れ端が混じってしまうことがありました。提供する前に指導者の方が気づいてくださったため大きな問題にはなりませんでしたが、もし気づかずに提供していたら、大きな問題につながっていたかもしれません。これからは、忙しい時でも衛生面に十分注意し、提供する前にしっかり確認するようにします。2つ目の課題は、この仕事が接客業であるということです。盛り付けは大切ですが、それに集中しすぎるのではなく、お客様を第一に考え、常に周りの様子に気を配ることが必要だと感じました。これからは、自分から進んで挨拶をすることも意識していきたいです。最終日も盛り場での作業でした。1日目、2日目の課題をクリアし、この 3 日間で1番動くことができた1日でした。1人でできることは1人で行い、助けが必要な場合は声を上げ、ピーク時にも何とか食らいついて頑張りました。とても充実した 3 日間でした。

　私はインターンシップで鈴鹿サーキットに行き、働くことの大切さを学ぶことができました。実際に仕事を体験する中で、周りの人と協力することや、コミュニケーションを取ることの大切さを実感しました。これらの力は、社会に出て働く上でとても重要であり、将来にも役立つと思いました。実習中、意識して取り組んだことは、ハキハキと喋ることです。なぜなら、お客様を案内する際、大きい声でハキハキと喋ると良い印象になると思ったからです。今回体験した仕事の「楽しさ」は、お客様の笑顔を見ることができたことです。お客様から「ありがとう」と言っていただいたときは、とても嬉しく、仕事のやりがいを感じました。一方で、仕事の「厳しさ」は、さまざまな人と接することです。年齢や国籍の異なるお客様と関わる仕事だからこそ、一人ひとりに合わせた対応をすることの難しさや大変さを感じました。インターンシップを通して、私はこの仕事に適していると思いました。私は接客業に就きたいと思っていたので、具体的な想像ができました。最後に、今回のインターンシップでの経験は、私の進路選択にとても役立ちました。実際に仕事を体験することで、社会人としてどのようなことが求められるのかを、少し先取りして学ぶことができたからです。今回のインターンシップでは、多くの方々にお世話になり、貴重な時間を使って指導していただきました。この経験への感謝を忘れず、将来の自分のためにこれからも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

〈スーパーサンシ株式会社〉

　インターン1日目は、午前の業務中に体調不良を起こして早退することになりました。次の2日目と最終目は確実に14時30分まで業務を遂行するため、帰宅後はしっかり休み、体調管理を徹底しました。2日目は遅刻してしまいましたが、お客様が求めている商品を従業員さんから受け取り、お渡しした時にやりがいを感じ、とても嬉しくなりました。指示を確実にこなし、品出しや前出しを終わらせることを意識して取り組みました。そして、周囲を見渡し、必要だと思う作業を自ら進んで行いました。その時、私はとても気分が晴れまし

た。従業員さんにもありがとうと褒めていただきました。とても嬉しかったです。最終目は、1日目と2日目の出来事を振り返りつつ、精一杯頑張りました。今、私は業務を行っているのだと思うと、途中から楽しくなってきて、手を動かすスピードがどんどん早くなっていくのも実感しました。しかし、真面目に業務をこなせばそれだけで良いわけではないので、それが社会の厳しさだと思いました。最後に、働かなければお金は社会に巡らなくなり、働かなければ会社が潰れることになります。経済を終わらせないためにも、自分たちの生活を守るためにも、働くことは大切だと思いました。



インターンシップを通して、自分一人だけで働くことは難しいと感じました。職場の皆さんは、お互いに協力し、支え合いながら仕事を進めていることを学びました。また、今回のインターンシップを通して、私たちの身近なお店が多くの方々の努力によって支えられていることを知ることができ、本当に良い経験になりました。実習では、商品のラベルを表に向け、商品を取りやすいように前に出したり、欠品が出ないように早めに商品を補充したりもしました。最初は何をすればよいか分からず、心配ばかりでしたが、だんだん仕事に慣れていきました。普段からよく利用している店舗での実習でしたが、お客様として利用するだけでは気付くことのできない店舗の良さや、働いている方々の努力を知ることができました。仕事には厳しさもありましたが、それと同じくらい楽しさもあることを知りました。それを知ることができたことも、とても良い経験になったと思います。また、仕事が終わったあと、私はとても達成感を得ました。販売の仕事は、想像以上に力仕事であり、欠品しそうな商品を倉庫から持ってきて表に出すことの繰り返しだったので、とても驚きました。ただ品出しをするだけでなく、自分から気づいて行動しなければいけないのだなと思いました。仕事をするうえで大切なことは、素早く行動することだと学びました。実際に従業員の方々を見ていると、品出しなどの作業をテキパキと行い、無駄のない動きをされていて、とても印象に残りました。また、皆さんがお互いに声を掛け合いながら協力して仕事を進めている姿を見て、チームワークの大切さも学ぶことができました。今回のインターンシップに参加したことで、販売の仕事にこれまで以上に興味を持つことができました。

〈マックスバリュ東海株式会社　鈴鹿中央店〉

インターンシップ初日は、レジと品出しをしました。緊張していて、あまり仕事を進めることができませんでした。しかし、レジはアルバイトでも行っていたので、すぐに慣れることができました。2日目もレジと品出しをしました。昨日より緊張が溶けて、早く仕事を終えることができました。そして、初めて店内放送をさせていただきました。最初は緊張していて声がとても小さくなってしまいましたが、少しずつ慣れていき、スムーズに大きな声で放送することができました。また、従業員の方から「笑顔は大切なので、笑顔を保つようにしよう」と教えていただきました。私は笑顔を作ることがあまり得意ではないため、最初は心配していました。しかし、皆さんと一緒に楽しく仕事をしているうちに、自然と笑顔になりました。3日目は従業員さんとも仲

良く話せるようになりました。品出しではちゃんと日付を見て間違えないように並べました。仕事をする中で、お客様に話しかけられた時にすぐに対応できるコミュニケーション力を身につけることができました。いつどのタイミングでお客様から話しかけられるか分からないため、常に周りの様子に気を配り、気を抜かずに行動しました。3日目は2日目以上に素早く仕事をすることができたので、従業員の方々にも褒められました。3日目の店内放送も2日目より上手にできました。3日間での成長を感じることができました。



今回のインターンシップを通じて、お客さんとのコミュニケーション、商品の陳列、レジ、レジ案内の放送などをさせていただき、とても勉強になりました。お客さんとコミュニケーションを取りつつ、パートさんともお話をして、たくさんのことを教えてもらいました。陳列は商品を並べる作業ですが、その並べ方についても、賞味期限と消費期限を確認して日にちが近いものを前に出し、日にちが遅いものを後ろにおいて、お客さんに見やすいように置くことが大切だと知りました。レジでは、かごを両手で持って近づけ、商品のバーコードを読んでいきます。バーコードがないものに関しては、パットを操作して、野菜、果物、揚げ物、その他のバーコードがないものを選択します。バーコードのない商品はしっかり数を見て、数を入力しました。レジ案内の放送は、お客さんが聞き取りやすいようにゆっくり丁寧に話すことを意識しました。レジでは、お酒やタバコを購入されるお客様の顔を見て20歳以上かどうか確認し、商品を販売しました。料理酒もお酒が入っているので、20歳以上かどうか確認しなければならないことに驚きました。お客さんによっては、はっきり話さないと聞こえない方もいるので、しっかり声を出して、お客さんに聞こえるように話すことが大事だと分かりました。アルバイトでの経験もインターンシップで役に立ちました。皆様にほめていただいで嬉しかったです。



今回のインターンシップでは、働くことの大切さを学ぶことができました。実際に仕事してみると、商品を並べるだけでなく、お客様へのあいさつや接客、レジ対応など、さまざまな仕事があることを知りました。また、1人で仕事するのではなく、周りの人と協力しながら仕事を進めることの大切さも実感しました。実習中は、笑顔であいさつをし、お客様に不快な思いをさせないようにすることを意識しました。また、わからないことがあれば積極的に質問することを心がけました。その結果、少しずつ仕事の流れを理解することができました。そして、仕事を体験してみて、一番大変だったことは、レジや品出しなどをする際に覚える事が多く、立ち仕事が続いたことです。想像していたよりも体力が必要で、働くことの大変さを知りました。さらに、お客様に商品の案内をしたときに「ありがとう」と言ってもらい、とてもやりがいを感じました。今回の仕事は自分にはあまり向いていないと感じました。接客に慣れていなかったため、難しいと感じました。お客様が商

品を求めているため、素早く正確にすることが求められていて、自分には向いていないと思いました。今回のインターンシップを通して、働くことの責任や大変さだけでなく、お客様に喜んでもらえる嬉しさも知ることができました。この経験を活かし、今後の進路や、将来の仕事選びに活かしていきたいです。



〈株式会社ぎゅーとら〉

私がインターンシップで体験した仕事は、商品の品出しです。体験する前は、品出しは商品を棚に並べるだけの簡単な仕事だと思っていました。しかし、実際にやってみると、商品をきれいに並べたり、お客様が取りやすいように向きをそろえたり、賞味期限を確認したりと、気を付けることがたくさんあり、想像していたよりもずっと大変な仕事だと感じました。最初は、どこに何の商品を並べればよいのか分からず、とても緊張しました。しかし、担当の方が一つ一つ丁寧に教えてくださり、少しずつ仕事の流れを覚えることができました。商品を前にそろえて見やすくする「前出し」という作業では、お店がきれいに見えるように細かいところまで気を配ることが大切だと学びました。また、品出しをしていると、お客様から商品の場所を聞かれることがありました。私は少し緊張しましたが、分からないことはすぐに店員さんに確認し、お客様をご案内することができました。そのときに「ありがとう」と言っていただけて、とてもうれしかったです。お店の仕事は商品を並べるだけでなく、お客様に気持ちよく買い物をしていただくための大切な役割があることを知りました。今回の職場体験を通して、普段何気なく利用しているお店には、多くの人の努力や工夫があることを実感しました。一つひとつの商品がきれいに並んでいるのは、店員さんが毎日丁寧に作業をしているからだということがよく分かりました。また、時間を意識して効率よく作業することや、周りの人と協力することの大切さも学ぶことができました。この体験で学んだことを、これからの学校生活でも生かしていきたいです。特に、相手のことを考えて行動することや、任された仕事を最後まで責任を持ってやり遂げることを意識していきたいと思います。今回の職場体験は、働くことの大変さだけでなく、やりがいや達成感も知ることができ、とても貴重な経験になりました。

今回のインターンシップで学んだことは、挨拶の大切さです。朝からしっかりと挨拶をし、従業員の方々との関わりを増やしていくうちに、仕事中にも笑顔で話しかけていただけるようになりました。この経験から、挨拶は人と人とのつながりを深めてくれる大切な言葉だと感じました。今回のインターンシップを通して、挨拶の大切さについて改めて考えることができました。また、お客様と関わることで、コミュニケーション力を高めることができました。アルバイトでの経験も生かしながら、従業員の方々やお客様に丁寧な言葉遣いで話すことを意識しました。お客様の中には、さまざまな話し方をされる方がいますが、どのようなお客様に対しても丁寧に受け答えをすることで、お客様に気持ちよく過ごしていただくことができると学びました。スーパーの仕事には、商品の販売だけでなく、品出しや接客、売場づくり、商品の品質管理など、さまざまな仕事

があることを知りました。地域のお客様に喜んでいただけるお店づくりを大切にしていることが特に印象に残りました。また、従業員の方々が丁寧に仕事を教えてくださり、とても嬉しかったです。働くことのやりがいや責任感についても学ぶことができました。今回のインターンシップを通して、食品や接客に関わる仕事への興味がさらに深まり、自分の将来について考える良い機会になりました。これから 3 年生に上がったときにも、株式会社ぎゅーとら様で学んだことを生かしていきたいと思います。今回のインターンシップでは、普段利用しているだけでは分からなかった仕事の大変さややりがい、店舗を支えている方々の努力を知ることができました。貴重な学びの機会を与えていただき、また、3 日間丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。今回学んだことをこれからの学校生活や将来の進路に生かしていきたいと思います。



〈有限会社ワンダーコーポレーション〉

今回のインターンシップでは、品出しやお客様への対応などを通して、自分が行った作業がお店やお客様の役に立っていることを実感しました。責任を持って仕事をすることの大切さを学び、挨拶や丁寧な接客、商品の取り扱いを意識して取り組みました。分からないことをそのままにせず、積極的に社員の方に質問することで、作業内容を理解して行動することができました。車やバイクの部品を並べたり整理したりする作業は、宝探しのようで楽しく感じました。一方で、商品の状態を確認したり、置き場所を間違えないようにしたりすることの難しさも学びました。また、実際の業務や接客、社員の方々との連携を経験し、お客様と直接関わりながら信頼関係を築くことにやりがいを感じました。社員の方々との交流を通して、相談や質問がしやすい雰囲気の職場であることも実感しました。今回の経験から、自分に不足している知識やスキルを知ることができました。今後は、コミュニケーション能力や課題解決力をさらに高め、今回の経験を学業や就職活動に生かしていきたいと思います。

〈株式会社まるかつ〉

私はこのインターンシップを通して、働くことの大切さや仕事の楽しさ、厳しさなど、たくさんのことを学びました。まず、お客様を思いやる気持ちを持って働くことや、生きていくために働くことの大切さを学びました。また、接客業に必要なマナーや敬語についても知ることができました。今回の実習では、丁寧に作業することと、しっかり挨拶することを意識して取り組みました。基本的なことですが、常に意識することで、気持ちよく働くことができました。仕事の中で楽しかったのは、工場での袋詰めやシール貼りです。袋詰めでは、最初は決められたグラム数に合わせることに少し手間取りましたが、作業を続けるうちに少しずつ早くできるようになりました。シール貼りでは、周りの人と協力して作業を進めることができました。一方で、荷物を

運ぶことや長時間の立ち仕事は大変でした。重い荷物を運ぶ際には、台車の必要性を感じ、立ち続けることで足が痛くなるなど、仕事の厳しさも実感しました。また、今回の経験を通して、自分に向いている仕事についても考えることができました。単純作業や裏方の仕事には楽しさを感じましたが、人前に出て接客する仕事には難しさを感じました。これまで進路についてあまり具体的に考えていませんでしたが、今回のインターンシップを通して、接客業やサービス業にも興味を持つようになりました。今回の経験を今後の進路選択に生かし、これからもさまざまな仕事に目を向けながら、自分に合った進路を考えていきたいです。



今回のインターンシップでは、実際の職場で働く方々と関わり、学校での勉強や普段の生活だけでは学ぶことのできない多くのことを経験しました。最初は慣れない環境で緊張していましたが、社員の方々が優しく丁寧に仕事を教えてくださったおかげで、安心して取り組むことができました。実際に仕事を体験してみると、一つひとつの作業を正確に行うことはもちろん、周りの人と協力しながら仕事を進めることがとても大切だと感じました。また、時間を守ることや、元気にあいさつや返事をすることなど、職場では基本的なことを大切にすることが重要だと学びました。社員の方々が責任感を持って仕事に取り組む姿を見て、社会人として働くことの大変さだけではなく、仕事をやり遂げたときの達成感ややりがいも感じることができました。インターンシップを通して、自分から積極的に行動することの大切さも実感しました。分からないことをそのままにせず質問することや、自分にできることを探して行動することが、仕事を円滑に進めるために必要だと学びました。また、普段何気なく使っている商品やサービスは、多くの人の努力や工夫によって支えられていることを知り、働く人への感謝の気持ちも強くなりました。今回の経験は、自分の将来について考える良い機会になりました。仕事には責任が伴いますが、その分、人の役に立つ喜びや達成感を得られることも知ることができました。このインターンシップで学んだことをこれからの学校生活や進路選択に生かし、あいさつや時間を守ること、積極的に行動する姿勢を大切にして成長していきたいと思います。

〈パンタロン株式会社〉

私は、鞍馬サンドでは 20 分に一度ホールチェックを行っていることを知りました。実際に働く中で、定期的に店内やトイレの状態を確認することで、常に清潔な環境が保たれていることが分かりました。この経験から、お客様に気持ちよく過ごしていただくためには、一つひとつの作業を丁寧に行い、責任を持って仕事をすることが大切だと学びました。今回の実習では、笑顔でお客様に接することと、分からないことは自分から質問することを意識しました。最初は緊張していましたが、お店の雰囲気がとても明るく、分からないことや次に何をすればよいかを尋ねやすいと感じました。実習では仕込みをすることが多く、一つの作業に集中して取り組むことがとても楽しかったです。私は集中して作業することが好きですが、作業を続けていると手が痛くなることもあり、大変さも感じました。また、昼頃には多くのお客様が来店し、店内が賑わう中で

接客することも経験しました。今回の経験を通して、パンタロン株式会社の仕事は自分に適していると感じました。同じ作業を繰り返したり、一つの作業に集中して取り組んだりすることが好きで、楽しく仕事ができたからです。また、サンドイッチをお客様にお渡しした際に、「ありがとう」と声をかけていただいたり、笑顔を見せていただいたりすることにやりがいを感じました。今回のインターンシップは、今後の進路を考える上で貴重な経験となりました。パンタロン株式会社のお店の雰囲気や、どのような人を必要としているのかを知ることができ、自分が接客業に向いているかを考えるきっかけにもなりました。

私は、3 日間のインターンシップを通して、仕事の厳しさややりがい、働く上でのマナーなど、多くのことを学びました。1 日目は、トマトを洗ったり、ヘタを取ったりする作業をしました。また、お客様にコーヒーをお渡ししたり、レジの仕事を教えていただいたりしました。お客様と接することには緊張しましたが、楽しく取り組むことができました。レジの操作は難しくありませんでしたが、サンドイッチの商品名を覚えて入力することが大変でした。2 日目は、購入されたサンドイッチを袋に詰める作業をしました。保冷剤や商品一覧のパンフレットを入れるなど、お客様に気持ちよく商品を受け取っていただくための工夫を知ることができました。また、20 分に 1 回の店内のゴミやトイレの確認、使用したお皿の回収、席の数の確認なども行いました。店内を清潔に保つために、細かいところまで確認することが大切だと学びました。3 日目は、実際にサンドイッチを作らせていただきました。丁寧に作業することは難しかったですが、完成したときに達成感があり、楽しく取り組むことができました。今回のインターンシップを通して、お客様を大切にすることや、仕事をする上でルールを守ることの重要性を学びました。お客様に喜んでいただけたときにやりがいを感じ、この仕事は自分に合っていると感じました。また、学生生活やアルバイトだけでは学ぶことのできないことを経験し、社会人として働くことについて考える良いきっかけにもなりました。今回学んだことをこれからの学校生活や将来に生かしていきたいです。



〈株式会社エンジョイ〉

働くことによって、生活するためのお金を得るだけでなく、社会の一員として自分の役割を持つことができると学びました。また、仕事をすることは、将来に対する安心感にもつながると思います。一方で、仕事では失敗することもあるため、失敗した後にどのように反省し、その経験を今後の仕事や会社への貢献につなげていくかが大切だと感じました。今回のインターンシップでは、集合時間をしっかりと守ることを意識して取り組みました。その結果、インターンシップに対する意識が高まり、「自分はやればできる」という自信を持つことができました。仕事の中では、笑顔で子どもたちと楽しくさまざまな活動をすることに楽しさを感じました。一方で、笑顔を作ることや子どもたちとの接し方に難しさを感じ、戸惑うこともありました。また、子どもたちの命を預かる仕事であるため、責任の重さや緊張感も実感しました。今回の経験から、現時点では自

分に向いていない部分もあると感じました。しかし、スタッフの方々が優しく、温かい雰囲気の中で働いている姿を見て、私も働くならこのような職場がいいと思いました。今回の経験を通して、自分に足りない部分や今後身につけたいことを知ることができました。今回のインターンシップは、今後の進路について考える貴重な機会となりました。将来の進路は、さまざまなことを経験しながら自分に合ったものを見つけていくことが大切だと思います。今回の経験を今後の学校生活や進路選択に生かし、自分の可能性を広げていきたいです。

〈自衛隊三重地方協力本部〉

今回のインターンシップでは、自衛隊の施設や仕事について、普段の生活では知ることのできないさまざまなことを学びました。まず、自衛隊は福利厚生が充実していることを知りました。寮生活だと思っていましたが、個室もあると聞き、実際に部屋を見せていただきました。想像していたよりも広く、十分に物を置くことができそうだと感じました。また、体育館も見学しました。高校の体育館よりも広く、2 階にはたくさんのトレーニング器具がありました。一方で、体育館には冷房設備がなく、夏場はとても暑くなると聞き、驚きました。航空自衛隊のチェストプレートやヘルメットも試着させていただきました。実際に着けてみると思っていたよりも重く、この装備を身につけて走らなければならないことを知り、大変さを実感しました。救急の分野では、胸骨圧迫法や AED の使い方を体験しました。これまでにも何度か体験したことがありましたが、実際に行うとまだ慣れておらず、動きがぎこちなくなってしまいました。繰り返し練習することの大切さを感じました。また、さまざまな車両を見学させていただき、普段見ることのできない車両に乗ることができて、とても貴重な経験になりました。車内はどの車両も暑く、厳しい環境の中で活動していることに驚くと同時に、すごい仕事だと感じました。特に印象に残ったのは、LAN ケーブルを自分で作ったことです。実際に自分の手でケーブルを作ることができ、普段何気なく使っているものの仕組みについて考えるきっかけになりました。3 日間を通して、さまざまな体験をさせていただき、自衛隊の仕事について多くのことを知ることができました。また、ボールペンやファイル、冷やせるタオルなどの日用品をいただいたり、柳井さんからエコバッグやシャープペンシルをいただいたりして、温かく接していただいたことも印象に残っています。初日と最終日にはアイスもごちそうになり、とても嬉しかったです。今回の経験を通して、自衛隊の仕事内容だけでなく、働く方々の温かさにも触れることができました。

僕がインターンシップを通して感じたことは、自衛隊は想像していたよりも親しみやすい職場だということです。体育館の上にあるトレーニング場にはさまざまな器具があり、とても充実していると感じました。昼休みには体育館でサッカーをしている隊員の方々もいて、クラブ活動なども活発に行われていることが分かりました。また、訓練中に間違えてしまった隊員の方へのフォローも手厚く、周りで支え合う職場なのだと感じました。食事についても、航空自衛隊と海上自衛隊では隊員の方々が自分たちで食事を作っており、陸上自衛隊では外部に委託していると聞きました。毎日厳しい訓練を行うため、食事を楽しみにしている隊員の方

も多く、管理栄養士の方がいて味にも気を配っているそうです。また、基地には漫画や DVD なども置かれていることを知り、意外に感じました。1 日目は、四日市市にある自衛隊三重地方協力本部で話を聞きました。自衛隊には任期制があり、1 任期の場合、陸上自衛隊は 2 年間、航空自衛隊と海上自衛隊は 3 年間勤務することを知りました。2 任期の場合は、それぞれさらに 2 年間勤務するそうです。任期を終えるとまとまったお金を受け取ることができ、それを大学への進学費用や奨学金の返済などに使う人もいると聞きました。2 日目は航空自衛隊の白山分屯基地を訪れ、さまざまな職種について見学しました。3 日目は陸上自衛隊の久居駐屯地を訪れ、たくさんの車両を見ることができました。この日は他の高校生も参加しており、普段とは違う雰囲気の中で見学することができました。今回のインターンシップを通して、自衛隊について知らなかったことをたくさん知ることができました。厳しい訓練を行う一方で、隊員同士で支え合ったり、休憩時間にスポーツをしたりするなど、親しみやすい一面も知ることができました。今回の経験をきっかけに、今後も自衛隊についてさらに知りたいと思いました。また、機会があれば久居駐屯地のイベントにも参加してみたいです。ありがとうございました。



〈一ノ宮保育所〉

私は今回のインターンシップを通して、保育に関わる仕事の大切さや責任の重さを学びました。保育の仕事では、子どもとのコミュニケーションが大切であり、普段の言葉遣いにも気をつける必要があることを知りました。また、子どもの様子をよく観察することが、子どもの安全や命を守ることにつながるため、とても責任のある仕事だと感じました。今回のインターンシップでは、一人ひとりの子どもの気持ちを大切にし、笑顔で接することを意識しました。子どもが安心して過ごせるように目線を合わせたり、名前を呼んだりしながら、積極的にコミュニケーションを取るようにしました。また、一緒に体を動かして遊んだり、困っている子どもに声をかけたりすることも意識しました。子どもたちの笑顔を見ることができたり、最初は緊張していた子どもが一緒に遊ぶうちに「遊ぼ！」と声をかけてくれたりしたことが嬉しく、とてもやりがいを感じました。一方で、先生方が常に周囲を見ながら、一人ひとりの様子を確認して行動している姿も印象に残りました。子どもの体調や気持ちの変化にすぐに気づき、適切に対応する姿を見て、保育の仕事には高い観察力と責任感が必要だと感じました。今回の経験を通して、私は子どもと関わる仕事に向いている部分があると感じました。子どもと遊ぶことが好きなので、一緒に過ごす時間を楽しむことができ、自然と笑顔になることができたからです。また、子どもたちが名前を呼んでくれたことにも嬉しさを感じました。今回のインターンシップは、今後の進路を考える上でも貴重な経験になりました。実際に仕事を体験したことで、子どもと関わる仕事の楽しさだけでなく、安全管理や体調の確認、保護者の方との関わりなど、目には見えない仕事



がたくさんあることも学びました。今回の経験から、保育の仕事には知識や技術だけでなく、思いやりや責任感も必要だと感じました。自分の得意なことだけでなく、今後の課題にも気づくことができたので、今回学んだことをこれからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。

〈社会福祉法人白鳩会白鳩保育園〉

インターンシップを通して、子どもたちと関わることの楽しさや、保育士の仕事の大変さを学ぶことができました。最初はどのように接すればよいか不安でしたが、笑顔で挨拶をしたり、一緒に遊んだりするうちに、子どもたちの方から話しかけてくれるようになりました。中には私と一緒に遊びたいと取り合いになる子もいて、嬉しさとやりがいを感じました。実習では、子ども一人ひとりの性格や発達に合わせて関わることの大切さを学びました。同じ年齢でも得意なことや苦手なこと、興味を持つものが異なるため、先生方は常に子どもたちの様子を観察していました。その姿を見て、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくることが重要だと感じました。また、遊びの中でも危険がないか確認したり、けがや体調の変化にすぐに気づいたりする先生方の姿が印象に残っています。実際に仕事を体験することで、子どもの命を預かる責任の重さを実感しました。一方で、子どもたちの笑顔や「一緒に遊ぼう」「先生大好き」という言葉を聞いたときには、とてもやりがいのある仕事だと感じました。私は実習中、笑顔で接することと、積極的にコミュニケーションを取ることを意識しました。その結果、少しずつ子どもたちとの距離が縮まり、楽しく関わることができました。今回の経験を通して、保育士には責任感や観察力だけでなく、子ども一人ひとりに寄り添う姿勢が必要だと学びました。最終日は、子どもたちと会えなくなることが寂しく、別れがとても悲しかったです。先生方や子どもたちから「ありがとう」と言ってもらえたことが嬉しく、最後のハイタッチや「まだ行かないで」という言葉には、思わず胸がいっぱいになりました。今回のインターンシップで得た経験や子どもたちとの思い出を忘れず、これからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。



インターンシップに参加する前は、保育士の仕事は子どもたちと遊んだり、楽しいことをしたりする仕事だと思っていました。しかし、実際に体験してみると、楽しいことだけではなく、多くの責任が伴う仕事であることが分かりました。子どもを叱らなければならない場面があったり、一人ひとりの名前や性格を把握したりする必要があったりすることを知りました。また、子どもたちが遊んでいる間も、持ち物を確認したり、他の作業をしながら常に子どもたちの様子を見たりしていました。何かあったときにはすぐに駆けつける先生方の姿を見て、子どもたちをよく観察し、安全を守ることの大切さを感じました。子どもたちは、私が想像していたよりも礼儀正しく、自分のことを自分で行っていて驚きました。また、遊びたいおもちゃが同じときにも、お互いに譲り合って遊んでいる姿を見て、子どもたちの優しさや成長を感じました。自分の保育園時代のことはあまり覚えていませんが、今回の体験を通して、私もこのように過ごしていたのかなと思いました。

今回の職業体験では、子どもたちとさまざまな交流ができ、とても楽しかったです。一方で、先生方と十分にコミュニケーションを取ることができず、今何をすればよいのか分からないまま指示を待ってしまうこともありました。分からないことがあれば、自分から積極的に質問することが大切だと感じたので、今後は自分から行動することを意識したいです。事業所の皆さんがとても優しく接してくださり、子どもたちも自分から自己紹介をしてくれたことが嬉しかったです。今回のインターンシップを通して、保育士の仕事の大変さや責任だけでなく、子どもたちと関わる楽しさも知ることができました。この経験をこれからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。



〈神戸保育所〉

今回のインターンシップ体験学習で意識して取り組んだことは、相手の目を見て、はっきりと話すことです。5 歳・4 歳・2 歳のクラスで実習をさせていただき、年齢によって子どもへの注意の仕方や、泣き出してしまったときの対応の仕方が異なることを学びました。また、子どもたちと関わることが本当に楽しく、一緒に思い切り遊んだり、話したりする中で、子どもならではの考え方を知ることができました。一方で、子どもが好きという気持ちだけでは続けることが難しい仕事だとも感じました。「これはだめだよ」と伝えても、うまく伝わらないことがあり、子どもに分かりやすく伝えることの難しさを実感しました。先生方が、子どもたち自身に気づいてもらうためにあえて見守ったり、一人ひとりのことを考えながら保育をしたりしている姿を見て、保育士は想像していたよりも大変で、責任のある仕事だと分かりました。さらに、保育士は子どもたちのお手本となる存在であるため、時間を守ることや、責任を持って行動することなど、社会人として当たり前のことを大切にする必要があると学びました。私もこれから、基本的なことを当たり前にできるよう意識していきたいです。今回の経験を通して、保育士の仕事についてより深く知ることができました。この経験を今後の進路選択に生かし、自分に合った進路を考えていきたいです。

今回のインターンシップを通して、働くことの大切さや、仕事の「楽しさ」と「厳しさ」を知ることができました。特に、保育士として働く上で大切なことを、実際に子どもたちと関わることで学ぶことができました。子どもとの距離感やコミュニケーションの取り方など、実際に働いてみなければ分からないことを経験できたことは、とても貴重でした。今回の体験で感じた仕事の「楽しさ」は、小さい子どもたちと一緒にたくさん遊ぶことです。子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができ、とても嬉しかったです。一方で、小さい子どもは少し目を離しただけでも、知らないうちにけがをしてしまう可能性があります。そのため、子どもたちの安全を確認しながら、一度にたくさんの子どもたちを見守ることの大変さも感じました。それが、保育士の仕事の「厳しさ」だと思いました。今回の実習では、一人ひとりの子どもとしっかりコミュニケーションを取ることを意識しました。3 日間とも同じクラスではなかったため、その日限りの関わりになる子どもたちとも、でき

るだけ平等に関わるよう心がけました。実際に仕事を体験してみて、保育士の仕事は自分に適していると感じました。私は人の世話をすることが好きで、子どもたちの嬉しそうな笑顔を見ることが、自分のやる気につながることにも気づきました。また、子どもたちの成長を身近で感じ、見届けることができる保育士の仕事に、大きな魅力を感じました。私も保育士として働くことができたら、とても嬉しく、誇らしく思います。今回のインターンシップは、自分の進路を考える上で大きな経験となりました。実際に体験しなければ分からなかったことをたくさん知ることができ、保育士という仕事への理解を深めることができました。今回の経験を自分の将来につながる大切な糧として、これからの進路選択に生かしていきたいです。

〈認定こども園いそやま保育園〉

インターンシップでの活動を通して学んだことは、最初は興味がないと思っていても、実際にやってみると楽しめることがあるということです。正直、今回の事業所を選んだ理由は「家から近いから」ということが一番大きく、インターンシップの前日は「ちゃんとできるのかな」と不安な気持ちで、緊張しながら当日を迎えました。最初は緊張していて、あまり積極的に行動することができませんでした。しかし、先生方や子どもたちが優しく話しかけてくれたことで、すぐに緊張がほぐれ、楽しく過ごすことができました。学童の子どもたちもとても仲良くしてくれました。2 日目からは、自分から積極的に話しかけたり、何かあったときには手伝ったりすることができました。1 日目よりも子どもたちとの距離が近くなり、たくさん話しかけてもらえたことが嬉しかったです。学童の子どもたちから「あと 1 日しか来ないの寂しいな」と言ってもらい、私も寂しい気持ちになりました。3 日目は外が暑く、水遊びができなかったため、室内で粘土や折り紙などをして遊びました。いそやま保育園の子どもたちは、立ちブリッジをしたり、逆立ちで歩いたりしていて、とても運動神経が良いことに驚きました。また、小さい子どもたちが、一人ではできないことでも諦めずに繰り返し挑戦し、できるようになっていく姿を見て、私も頑張ろうと思いました。最終日は学童の子どもたちと過ごす時間が少なく、最後もあっという間に終わってしまったことが少し残念でした。もう 2～3 週間くらい一緒に過ごしたかったと思うほど、楽しいインターンシップになりました。今回の経験を通して、実際に体験してみることで、新しい楽しさや興味を見つけられることを学びました。最初は不安でしたが、積極的に関わることで子どもたちとの距離を縮めることができ、自分から行動することの大切さも学ぶことができました。



〈鈴鹿市立河曲保育所〉

今回のインターンシップ体験前は、子どもたちとしっかり接することができるか不安でした。しかし、実際に体験してみると、子どもたちはみんな元気で、常に周りを見ていなければならないことが分かりました。職員の方々が、子どもたちの安全を守るためにどれほど周囲を見ているのかを実感しました。私は、子どもたちを元気に成長させたいと思っていました。しかし、子どもが苦手だった私が、今回の体験を通して子どもたちを好きになり、逆に自分が子どもたちから成長させてもらったと感じています。今回の体験では、保育の仕事の楽しさと厳しさの両方を知ることができました。楽しさは、子どもたちの日々の小さな成長を見つけたときに、とても嬉しい気持ちになれたことです。一方、子どもであっても、良くないことをしたときにはしっかりと注意しなければならないという厳しさも学びました。今回の体験を通して、この仕事が自分に適しているのかという答えはまだ見つかりませんでした。しかし、これまで知らなかった新しい自分を見つけることができました。また、実際に働くことで、普段は見えない仕事の苦労や大変さを知ることもできました。特に保育園では子どもたち一人ひとりをしっかりと見守ることの大切さを学びました。体験前は不安でいっぱいでしたが、職員の皆様にサポートしていただいたおかげで、安心して実習に取り組むことができました。終わってみると楽しかったと感じることができ、新しい自分を見つけることもできました。今回の経験を今後の進路選択に生かしていきたいです。



〈鈴鹿市立西条保育所〉

保育園でのインターンシップを通して、子どもたちと直接関わることの楽しさや、保育士の仕事の大変さ、責任の重さを実感しました。実際に保育の現場を見るまでは、子どもたちと遊ぶことが中心の仕事というイメージを持っていました。しかし、一人ひとりの体調や気持ちをよく観察し、安全に配慮しながら成長を支えていることを知り、保育士という仕事の重要性を改めて感じました。子どもたちは元気いっぱいで、最初は緊張していた私にも笑顔で話しかけてくれました。一緒に遊んだり、絵本を読んだりする中で、子どもたちの素直な反応や笑顔を見ることができ、とても嬉しかったです。また、子ども一人ひとりに個性があり、興味を持つことや行動の仕方も異なるため、それぞれに合った声かけや関わり方が大切であることを学びました。保育士の先生方は、子どもたちへの優しい言葉かけだけでなく、危険がないように周囲を常に確認し、保護者への連絡や活動の準備なども丁寧に行っていました。その姿から、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくるためには、細かな気配りや責任感、コミュニケーション能力が必要であると感じました。今回のインターンシップでは、子どもたちとの関わりを通して、相手の気持ちを考えて行動することの大切さも学びました。また、自分から積極的に声をかけることで、子どもたちとの距離が縮まり、信頼関係につながることも実感しました。この経験を通して、保育の仕事への理解が深まり、子どもの成長を支えることのやりがいを知ることができました。今回学んだことをこれからの学校生活や進路選択に生かし、相手を思いやる気持ちや責任感を大切にしながら、自分自身も成長していきたいと思います。

私は保育園で体験をして、子どもと関わる仕事の楽しさや大変さを学びました。最初はうまく話せるか心配だったけれど、子どもたちが笑顔で「一緒に遊ぼう」と声をかけてくれたので、すぐに緊張がなくなりました。一緒に外で遊んだり、おもちゃを片付けたり、絵本を読んだりして、とても楽しい時間を過ごすことができました。しかし、保育士さんの仕事は遊ぶだけではないことも分かりました。子ども一人ひとりの様子をよく見て、安全に過ごせるように気を配っていたり、けんかをしたときには両方の話を聞いて仲直りさせたりしていました。泣いている子には優しく声をかけ、安心できるようにしている姿を見て、保育士さんはとても責任が重い仕事だと感じました。また、給食の準備や片付け、教室の掃除、お昼寝の準備など、子どもが見えないところでもたくさんの仕事をしていて驚きました。今回の体験を通して、子どもたちは一人ひとり性格が違うので、その子に合った接し方をすることが大切だと学びました。また、小さな変化にもすぐ気づき、子どもたちが毎日安心して過ごせるように工夫している保育士さんの姿がとても印象に残りました。子どもたちの笑顔のために努力していることを知り、とてもすごい仕事だと思いました。この体験から、人と関わる仕事の大切さや、相手の気持ちを考えて行動することの大切さも学ぶことができました。最初は緊張していたけれど、最後には子どもたちと笑顔で話せるようになり、自分自身も少し成長できたと感じました。これからは今回学んだことを学校生活でも生かし、周りの人を思いやって行動したいと思います。また、この経験を忘れずに、将来の進路を考えるときにも役立てていきたいです。保育園での体験は、自分にとってとても良い経験になりました。

今回の2日間のインターシップでは、保育所で実際に子どもたちと関わることができ、とても貴重な経験になりました。最初は緊張して、子どもたちとうまく話せるか不安でしたが、子どもたちが笑顔で話しかけてくれたり、一緒に遊び誘ってくれたりしたおかげで、少しずつ緊張がほぐれました。子どもたちは元気いっぱいで、最初は緊張していた私にも笑顔で話しかけてくれました。子どもたちと一緒に、外遊び、絵本の読み聞かせ、室内遊びをする中で、子どもたちの素直な反応や楽しそうな笑顔を見ることができ、私も自然と笑顔になりました。また、保育士の先生方は子どもの気持ちを尊重しながら優しく声をかけ、困っている子にはすぐに寄り添っていました。その姿を見て、信頼関係を築くことの大切さを学びました。さらに、保育士の仕事は子どもの世話だけではなく、保護者との連絡や教室の環境整備、行事の準備など、見えないところでも多くの仕事があることを知りました。子どもたちが安心して過ごせる環境は、先生方の努力によって支えられていることを実感しました。今回のインターンシップを通して、子どもと関わる仕事の楽しさだけでなく、その責任の重さややりがいも学ぶことができました。相手の立場になって考え、思いやりを持って接することの大切さは、これからの学校生活や将来の仕事にも生かしていきたいと思います。この貴重な経験を忘れず、自分自身も周りの人を支えられる人になれるよう努力していきたいです。

〈鈴鹿市立牧田保育所〉

牧田保育所でのインターンシップを通して、子ども一人ひとりの個性や発達段階に合わせて関わることの大切さを学びました。実際に、保育士の先生方が子どもの気持ちを受け止めながら優しく声をかけ、安心して過ごせる環境をつくっている姿がとても印象に残りました。私は子どもたちと一緒に遊んだり、活動の補助をしたりする中で、最初は緊張していましたが、笑顔で話しかけることを意識しました。また、子どもとコミュニケーションを取る際に目線を合わせて話すことが難しかったですが、日を重ねるごとに少しずつできるようになりました。一緒に遊ぶ中で、「先生、見て！」と声をかけてもらえたことがとても嬉しく、信頼関係は日々の小さな関わりの積み重ねによって築かれることを実感しました。また、保育士の先生方は安全面にも常に気を配りながら、子どもたちが自分で考え、挑戦できるように見守っていました。その姿から、子どもの成長を支えるためには、ただ手伝うだけではなく、自主性を尊重することが大切であると学びました。今回のインターンシップでは、保育という仕事のやりがいや責任の大きさを知ることができました。同時に、子どもたちの笑顔や成長に関わることのできる保育士という仕事の魅力も強く感じました。この経験を今後の学びに生かし、子ども一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせる環境をつくることのできる保育者を目指して努力していきたいと思います。

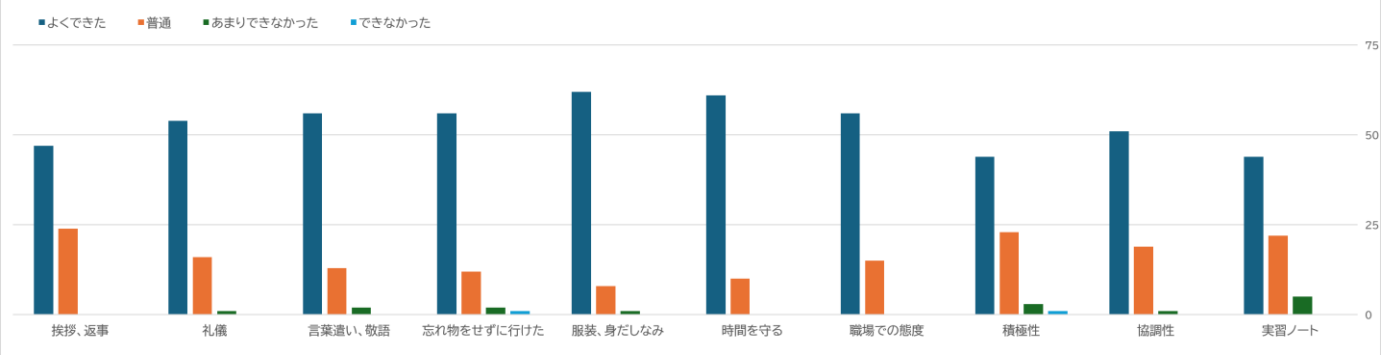
私は今回のインターンシップを通して、保育士として働くことの大切さを学びました。特に、コミュニケーション能力の重要性を実感しました。子どもたちと信頼関係を築くためには、一人ひとりに合わせた接し方や話し方が必要です。また、保護者の方に子どもたちの様子を伝える際には、分かりやすく丁寧な言葉遣いで話すことが大切だと学びました。実習では、子どもたちと積極的にコミュニケーションを取ることと、自分から話しかけることを意識しました。実際に子どもたちと関わる中で、何を伝えたいのかを考えながらコミュニケーションを取ることができました。また、けんかをしている子どもたちの間に入り、それぞれの話を聞きながら対応することもできました。自分から積極的に話しかけることで、すぐに打ち解けることができ、楽しく話したり遊んだりすることができました。今回のインターンシップでは、仕事の「楽しさ」と「厳しさ」の両方を体験することができました。「楽しさ」の面では、子どもたちが夏祭りに向けて鳴子や竹太鼓の練習をしている様子を見学しました。みんなが笑顔で一生懸命練習している姿を見て、私も楽しい気持ちになりました。また、子どもたちと一緒におもちゃやパズル、トランプなどで遊び、楽しく過ごすことができました。一方、「厳しさ」の面では、子どもたちがとても元気で、一緒に活動するためには体力が必要だと感じました。保育士として働くためには、子どもたちと元気に関わることができる体力も大切だと学びました。今回の経験を通して、保育士は子どもたちと楽しく関わるだけでなく、コミュニケーション能力や体力、責任感など、さまざまな力が必要な仕事だと分かりました。今回学んだことを、これからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。

今回、牧田保育所でインターンシップを経験し、保育士の仕事の大切さや子どもたちと関わる楽しさを実感することができました。初日は緊張していましたが、先生方が温かく迎えてくださり、子どもたちも笑顔で話しかけてくれたので、安心してインターンシップに参加することができました。インターンシップでは、子どもたちと一緒に遊んだり、食事や片付けの手伝いをしたり、竹太鼓などの演技を見学したりしました。子どもたちは一人ひとり性格や興味が違うため、それぞれに合った声かけや関わり方が必要であることを学びました。泣いていた子もいましたが、先生方が優しく声をかけることで、活動に参加している姿を見ることができました。また、先生方が子どもの気持ちを受け止めながら、成長を促すように優しく接している姿がとても印象に残りました。特に心に残ったのは、最初は恥ずかしそうにしていた子どもが、一緒に遊ぶうちに笑顔で話しかけてくれるようになったことです。子どもとの信頼関係は、日々の丁寧な関わりによって築かれることを実感しました。一方で、子どもと目線を合わせて話すことが難しく、自分から積極的に関わることの大切さも学びました。また、子どもの安全に常に気を配りながら活動することや、一人ひとりの体調や様子を細かく観察することなど、保育士には大きな責任があることも学びました。子どもたちが安心して過ごせる環境をつくるためには、細やかな配慮やチームワークが欠かせないことを知りました。今回のインターンシップを通して、保育の仕事は子どもの成長を支える、とてもやりがいのある仕事だと感じました。今回の経験をこれからの学校生活や進路選択に生かしていきたいです。

生徒アンケート集計

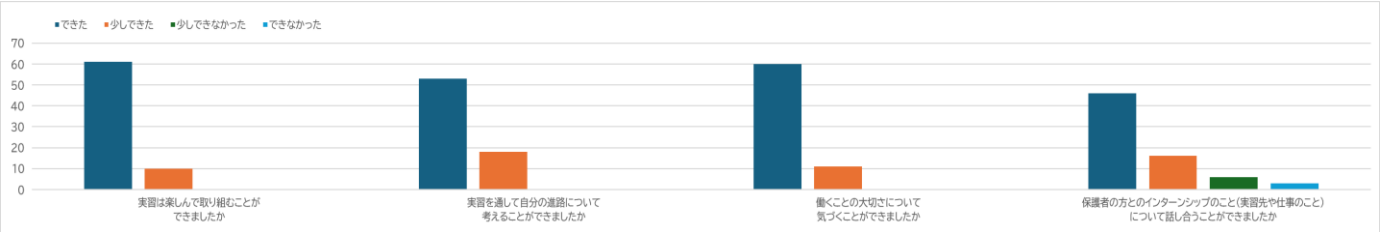
◆インターンシップを終えて自分の成績をつけるとしたら、どのようになりますか。(人数)

	よくできた	普通	あまりできなかった	できなかった
挨拶、返事	47	24	0	0
礼儀	54	16	1	0
言葉遣い、敬語	56	13	2	0
忘れ物をせずに行けた	56	12	2	1
服装、身だしなみ	62	8	1	0
時間を守る	61	10	0	0
職場での態度	56	15	0	0
積極性	44	23	3	1
協調性	51	19	1	0
実習ノート	44	22	5	0



◆実習はどうでしたか。(人数)

		できた	少しできた	少しできなかった	できなかった
①	実習は楽しんで取り組むことができましたか	61	10	0	0
②	実習を通して自分の進路について考えることができましたか	53	18	0	0
③	働くことの大切さについて気づくことができましたか	60	11	0	0
④	保護者の方とのインターンシップのこと(実習先や仕事のこと)について話し合うことができましたか	46	16	6	3



◆実習はどうでしたか。(人数)

		思う	どちらかといえば思う	悩んでいる	どちらかといえば思わない	思わない
①	将来地元の事業所に就職したいと思いますか	30	23	3	11	4
②	今回体験した職種に就職したいと思いますか	29	19	4	15	4
③	インターンシップ体験をもう一度してみたいと思いますか	40	15	3	10	3

